

# 単位互換講座を受講するにあたって

単位互換講座は、神戸研究学園都市大学交流推進協議会に加盟している神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学神戸商科キャンパス、流通科学大学、神戸市立工業高等専門学校、神戸市看護大学が「単位互換に関する協定」を締結し、他大学の提供する科目も受講できるとともに、取得した単位を自分の大学の正規単位として認定できるようにしたものです。

単位互換講座の受講・認定については、大学により異なりますので、事前に自分の大学の教務関係の窓口で確認した上で手続きを行ってください。

単位互換講座には、「特別科目」と「学内提供科目」の2種類があり履修や試験等の規則が異なりますので注意してください。

単位互換講座は、専門に関する分野や異なった分野の授業を受講することで、自分の専門分野に厚みと幅を加えることができます。さらに、他大学の先生の授業を受けたり、他大学の学生と机を並べて勉強することにより、新たな刺激を受けられるなど学生生活を充実したものにすることができます。ぜひ積極的にチャレンジしてください。

また、特別科目の一部は、神戸市内、近隣にある公・私立23高等学校の高校生に、進路選択及び教養・知識の向上を目的に、「ユニティ高大連携講座」として開講し、高い評価を得ています。本年度は特別科目23科目のうち13科目をユニティ高大連携講座として提供します。

## 特別科目

---

UNITYの教室で開講される科目です。

開講期間（試験日を含む）は、所属大学のものとは異なりますので、注意してください。

- ・前期 4/9(月)～8/6(月)

上記の日程で講義(15回+試験)と補講日が確保できない曜日は、担当教員が他の曜日で授業を設定する。

- ・後期 9/25(火)～12/21(金)、1/7(月)～2/18(月)

上記の日程で講義(15回+試験)と補講日が確保できない曜日は、担当教員が他の曜日で授業を設定する。

## 学内提供科目

---

科目開設大学のキャンパスで履修する科目です。

他大学のキャンパスに行くことによって、新しい発見や幅広い友人関係ができます。ぜひ他大学のキャンパスも体験してみてください。開講期間や時間、休講基準、試験の実施方法等は科目開設大学の規定に基づきます。受講生は、必要な規則の説明書を科目開設大学より受け取り、よく読んでおいてください。

※開講期間、曜日及び時間は3月末に配布する「時間割」をご覧ください。

# 出願手続き

## 1. 申込者の資格

---

- ①神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学神戸商科キャンパス、流通科学大学、神戸市立工業高等専門学校、神戸市看護大学、兵庫県立大学明石看護キャンパスの学生で、自分の大学の許可があれば誰でも受講資格があります。  
ただし、科目によって既履修科目や対象学年等の条件がありますので、「科目概要(シラバス)」で確認をしてください。
- ②大学によって、単位認定が可能な科目や単位数等が異なります。詳細については自分の大学の教務関係窓口やガイダンス等で確認をしてください。

## 2. 出願の方法

---

- ①自分の大学の教務関係窓口で、前期科目・後期科目とも4月初め自分の大学で定められた期間内に自分の大学の指示に従って手続きをしてください。なお、後期科目で定員に余裕のあるものについては、7月頃に再募集をします。再募集をする科目については自分の大学で確認をしてください。
- ②必要な提出書類は「ユニティ単位互換講座科目履修出願票」です。記入例を参考にして、1科目につき1枚記入をしてください。2科目以上出願する方は、用紙をコピーして使用してください。
- ③学生の受講料は無料です。

## 3. 履修許可及び履修手続きについて

---

- ①科目開設大学が「ユニティ単位互換講座科目履修出願票」に基づいて選考を行います。
- ②選考の結果は、4月13日(金)に自分の大学から通知されますので、確認をしてください。また、後期科目の再募集選考結果は、9月20日(木)に通知されます。
- ③前期については、履修許可の確定が前期授業開始後になりますので注意してください。
- ④科目によっては科目開設大学での手続きが必要な場合があります。その場合は、科目開設大学の指示に従って手続きをしてください。

## 4. 学籍等の取扱い

---

- ①履修を許可された学生は、科目開設大学の「特別聴講学生」または「科目等履修生」となります。
- ②講義を受ける際の注意や試験の実施方法等は、科目開設大学の指示に従ってください。
- ③単位の認定や成績は、自分の大学を通じて連絡されます。

# 出願票記入例

## ユニティ単位互換講座 科目履修出願票

※ No. / 枚中  
↑ 記入しないこと

|                         |         |          |                                      |
|-------------------------|---------|----------|--------------------------------------|
| 所属大学・学部等                | 学籍番号    | B 67543  |                                      |
| ユニティ 大学<br>学部<br>学科 2 年 | フリガナ    | ガクエン トシオ |                                      |
|                         | 氏名      | 学園 とし男   |                                      |
| 科目開設大学                  | 流通科学 大学 | 性別       | <input checked="" type="radio"/> 男・女 |
|                         |         | 科目区分     | ( ) 特別科目<br>(○) 学内提供科目               |
| 出願科目                    | 都市・地域計画 | ※結果      | 可・否                                  |

【注意】1科目1枚で記入してください。2科目以上履修する方はコピーしてください。 ↑ 記入しないこと

## 履修志望書

履修の動機や特に学習したい内容について記入すること

我々は何も意識することなく都市・地域で生活・活動を行っていますが、そこにルールとして「都市計画法」が存在したことに興味を持ちました。都市・地域が抱えている問題や自分個人として都市・地域について抱く問題点をこの講義を受けることで少しずつ理解を深めて自分なりに次世代の都市・地域の計画及び、問題点の解決を深めていきたいです。また、将来は県庁もしくは市役所で地元のために働きたいと考えており、将来の職業のための知識面として活用したいと考えております。

都市・地域計画を学習するにあたり、阪神淡路大震災や東日本大震災、また近い将来起こるといわれている南海トラフ地震を見つめた「災害に強いまちづくり」について詳しく学習したいと考えております。また「高齢化社会とバリアフリー」や「安全・安心なまちづくり」など、市民社会の一員としてこれから考えていかねばならない問題へのアプローチもしたいと思います。

# 特別科目

## 履修上の注意

---

### 1. 休講について

次の場合は休講となります。

① 14時現在、神戸市に暴風警報または大雪警報が発令された場合

② 14時現在、神戸市に特別警報が発令された場合

③ 14時現在、神戸市営地下鉄西神・山手線に運休区間がある場合

(ただし、天候事情等により通学が不可能もしくは危険なために欠席した場合は、欠席届を学生から講義担当教員に提出)

※各大学及び UNITY の掲示板、ホームページで受講生に通知します。(https://www.unity-kobe.jp)

2. 受講希望者が極端に少ない場合は開講しないことがあります。

3. 使用教科書等については、シラバス及び講義内での教員の指示に従ってください。

## 試験について

---

1. 試験日及び試験時間については、講義担当教員が講義内で説明します。

2. 受験資格や遅刻の取扱等については、科目開設大学の規則に基づくこととし、講義担当教員が講義内で説明します。

3. 追試験は、原則として実施しませんので必ず指定された日時に受験してください。

4. レポートの提出については、「レポート提出票」を付けて締切期日までに UNITY 事務室に提出してください。「レポート提出票」は UNITY 事務室にあります。

## 特別科目時間割

(注1) 16:30～19:45の講義については、途中15分間の休憩が入ります。

(注2) ※印は高大連携講座です。

(注3) ☆印は週2回の授業です。

(注4) 教室は、UNITYの案内板を見てください。

| 曜日 | 開講時期 | 科目名             | 単位数 | 担当大学 | 担当教員  | 時間          | 掲載頁 |
|----|------|-----------------|-----|------|---|-------------|-----|
| 月  | 前    | 組織の経済学 ☆        | 4   | 県立大  | 清水 隆則 准教授   | 16:30～18:00 | 16  |
|    |      | エコロジー経済学        | 4   | 県立大  | 三俣 学 教授   | 16:30～19:45 | 15  |
|    | 後    | ヨーロッパ地域論1 ※     | 2   | 外 大  | 中沢(並河) 葉子 教授  | 17:50～19:20 | 8   |
| 火  | 前    | 臨床心理学入門1 ※      | 2   | 外 大  | 金沢 晃 准教授  | 17:50～19:20 | 9   |
|    |      | 観光施設計画論         | 2   | 流科大  | 小久保 恵三 教授   | 18:15～19:45 | 19  |
|    |      | 地域学 ※           | 2   | 高 専  | 八百 俊介 教授  | 18:15～19:45 | 22  |
|    | 後    | 応用経済分析          | 4   | 県立大  | 横山 由紀子 教授   | 16:30～19:45 | 17  |
|    |      | 情報メディア論 ※       | 4   | 県立大  | 古隅 弘樹 准教授   | 16:30～19:45 | 18  |
|    |      | 民族衣装論 ※         | 2   | 芸工大  | 新田 恭子 講師  | 16:30～18:00 | 6   |
|    |      | デザインと印刷 ※       | 2   | 芸工大  | 赤崎 正一 教授<br>萩原 小麻紀 助教   | 16:30～19:45 | 7   |
|    |      | 臨床心理学入門2 ※      | 2   | 外 大  | 金沢 晃 准教授  | 17:50～19:20 | 12  |
|    |      | 証券論 ※           | 2   | 流科大  | 福田 司文 教授  | 18:15～19:45 | 20  |
|    |      | 臨床心理学           | 2   | 流科大  | 岩崎 久志 教授  | 18:15～19:45 | 21  |
| 水  | 前    | 女性と女性の健康 ※      | 1   | 看護大  | 高田 昌代 教授<br>嶋澤 恭子 准教授<br>藤井 ひろみ 准教授<br>奥山 葉子 助教<br>平田 恭子 助教<br>細川 由美子 助教<br>滝川 由香里 助教 | 16:40～18:00 | 25  |
|    |      | 社会学             | 2   | 看護大  | 檜田 美雄 准教授   | 18:20～19:50 | 26  |
|    | 後    | 医療通訳・コーディネーター入門 | 2   | 外 大  | 長沼 美香子 教授 他   | 18:15～19:45 | 13  |
| 木  | 前    | 組織の経済学 ☆        | 4   | 県立大  | 清水 隆則 准教授   | 16:30～18:00 | 16  |
|    |      | 国際取引法1 ※        | 2   | 外 大  | 植田 淳 教授   | 17:50～19:20 | 10  |
|    |      | 現代思想文化論         | 2   | 高 専  | 手代木 陽 教授  | 18:15～19:45 | 23  |
|    | 後    | 国際取引法2 ※        | 2   | 外 大  | 植田 淳 教授   | 17:50～19:20 | 14  |
|    |      | 応用倫理学 ※         | 2   | 高 専  | 手代木 陽 教授  | 18:15～19:45 | 24  |

2018年1月末現在

# 民族衣装論

*Ethnology of Asian clothing*

2 単位

|         |                  |             |                   |
|---------|------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸芸術工科大学         | 担 当 教 員 氏 名 | 新田 恭子 講師          |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/25 ~ 1/29) | 開 講 曜 日・時 間 | 火曜日 16:30 ~ 18:00 |
| 対 象 学 年 | 全学年              | 募 集 人 員     | 20 名程度            |

|         |  |                               |
|---------|--|-------------------------------|
| 科 目 内 容 | 人間は、「おしゃれ」することによって、自己を表現しようとする。民族衣装を着ることは、単純にとらえればある民族への帰属を表しているが、歴史や文化に注目して視野を広げて見ると、衣装の形や色だけでなく素材や技法などからも多様な情報を読み取ることができる。アジアを中心とした地域の様々な民族衣装を、多数の視覚資料や実物資料を用いて、それぞれの魅力とその背後にある歴史や文化を紹介する。また、テキスタイルに対する視野を広げるために、民族衣装の素材と染め、織り、刺繍などの技法についても様々な事例を提示する。 |                               |
|         | 各回内容   |                               |
|         | 1  | 趣旨と概要の説明—「おしゃれ」の源をさぐる         |
|         | 2  | 「おしゃれ」の源をさぐる—身体変工のいろいろ        |
|         | 3  | 身体をはった「おしゃれ」—タトゥーが持つ意味        |
|         | 4  | 巻き付ける「おしゃれ」—ひもから四角い布まで        |
|         | 5  | 日本服飾史—「きもの」の成り立ちを中心に—————日本 1 |
|         | 6  | 東アジアから見た「きもの」—————日本 2        |
|         | 7  | 「きもの」の意匠と役割—歌舞伎衣装を例に—————日本 3 |
|         | 8  | 「きもの」の素材と技法—友禅染と西陣織—————日本 4  |
|         | 9  | 「チャイナドレス」への考察—————中国 1        |
|         | 10   | 中国少数民族の服飾 1—ミャオ族—————中国 2     |
|         | 11   | 中国少数民族の服飾 2—タイ族—————中国 3      |
|         | 12   | 絞（しぼり）と緋（かすり）—グジャラート州の事例—インド  |
|         | 13   | 民族衣装に染められた色「赤」—————ブータン       |
|         | 14   | 民族衣装と藍染め                      |
| 15      | 授業全体のまとめ   |                               |

評 価 方 法：授業中に実施する小レポートを 40% と試験期間に行う定期試験 60% で評価。

教 科 書：資料を配布する。

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て：履修にあたって 1/3 以上の欠席は授業放棄とみなし、原則として単位付与はしない。  
定期試験は定期試験期間 (2 月 4 ~ 7 日のいずれか) に実施する。

|         |                  |               |                       |
|---------|------------------|---------------|-----------------------|
| 大 学 名   | 神戸芸術工科大学         | 担 当 教 員 氏 名   | 赤崎 正一 教授<br>萩原 小麻紀 助教 |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/25 ~ 1/29) | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 火曜日 16:30 ~ 19:45     |
| 対 象 学 年 | 3 年次以上           | 募 集 人 員       | 20 名程度                |

|         |  |                               |  |
|---------|--|-------------------------------|--|
| 科 目 内 容 | 現在、私たちがデザイン作業の基盤としているデジタル環境（DTP技術）の中にも多くの歴史的な「印刷技術」の知識の体系が組み込まれています。この講義では「グラフィックデザイン」「エディトリアルデザイン」の基礎知識としての「印刷の歴史」を通観するだけではなく、個々の時代の特徴的な「印刷技術」や、そうした技術を要請した時代・地域における「社会」と「印刷」の関係についても学びます。同時に「デザイン」を成り立たせていた近代社会が飽和状態となっている現在、近代工業技術としての「印刷」は、IT技術が圧倒する情報化社会の中で、どのような意味を持っているのかについてもデザインの立場から考察します。 |                               |  |
|         | 各回内容   |                               |  |
|         | 1  | オリエンテーション（赤崎+萩原）              |  |
|         | 2  | 人類史の中での文字・イメージと印刷（赤崎）         |  |
|         | 3  | 印刷における東洋と西洋、そして日本（赤崎）         |  |
|         | 4  | 画素について／ピクセルと網点（萩原）            |  |
|         | 5  | デジタル環境と印刷技術（萩原）               |  |
|         | 6  | 画像と「色」、白と黒、「紙」と白（赤崎）          |  |
|         | 7  | RGB と CMYK ・モードと特色（赤崎）        |  |
|         | 8  | 書体の現在「文字の基礎知識」（萩原）            |  |
|         | 9  | 書体の現在「組版の基礎知識」（萩原）            |  |
|         | 10   | 石・簡牘・紙／アクションとしての印刷（赤崎）        |  |
|         | 11   | 「単位」としての文字と「運動体」としての文字（赤崎）    |  |
|         | 12   | 印刷と「近代」1-活版印刷術の普及と出版市場経済（赤崎）  |  |
|         | 13   | 印刷と「近代」2-普遍語と俗語革命、国語と国民国家（赤崎） |  |
|         | 14   | 「イメージ課題」プレゼンテーション（赤崎+萩原）      |  |
| 15      | 「イメージ課題」プレゼンテーション／まとめ（赤崎+萩原）   |                               |  |

評 価 方 法： 毎回、授業時間内で課する「小レポート（あるいはアンケート）」、随時出題する「イメージ課題」、「イメージ課題」のプレゼンテーション、以上のすべてを総合的に評価します。

教 科 書： 毎回レジュメを配布します。

参 考 図 書： 杉浦康平+神戸芸術工科大学共同研究組織著『表裏異體—杉浦康平の両面印刷ポスターとインフォグラフィックス』  
戸田ツトム+鈴木一誌著『デザインの種』  
水村美苗著『日本語が亡びるとき—英語の世紀の中で』

履 修 に あ た っ て： 初回授業でスケジュール表を配布します。休講等で日程変更の生じた場合は、更新したスケジュール表をあらためて配布します。

集中授業（期間中8回を予定）として実施します。



# ヨーロッパ地域論 1

Area Studies of Europe 1

2 単位

|         |                |             |                   |
|---------|----------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学       | 担 当 教 員 氏 名 | 中沢(並河)葉子 教授       |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/9 ~ 8/6) | 開 講 曜 日・時 間 | 月曜日 17:50 ~ 19:20 |
| 対 象 学 年 | 全学年            | 募 集 人 員     | 20 名程度            |

|         |  |                          |  |
|---------|--|--------------------------|--|
| 科 目 内 容 | 国家を超えた地域統合が進むヨーロッパについて、「ヨーロッパ」という地域概念が生成してきた歴史的背景を考えるとともに、域内の多様性と特色を考える。 |                          |  |
|         | 各回内容   |                          |  |
|         | 1  | ガイダンス                    |  |
|         | 2  | 古地図に見るヨーロッパ              |  |
|         | 3  | ヨーロッパを考える意味              |  |
|         | 4  | ヨーロッパとは何か：地理学的な指標と歴史学的指標 |  |
|         | 5  | 環地中海世界                   |  |
|         | 6  | 観地中海世界の解体とヨーロッパ世界の成立     |  |
|         | 7  | ゲルマンとローマ                 |  |
|         | 8  | キリスト教                    |  |
|         | 9  | 東ヨーロッパと西ヨーロッパ            |  |
|         | 10   | ヨーロッパの農業と食生活             |  |
|         | 11   | ヨーロッパの人口動態               |  |
|         | 12   | ヨーロッパ中世から近代へ             |  |
|         | 13   | ヨーロッパの家族                 |  |
| 14      | まとめ  |                          |  |
| 15      | 試験   |                          |  |

評 価 方 法：レポートまたは試験により評価する。

教 科 書：とくに指定しない。

参 考 図 書：授業の中で随時指示する。

履 修 に あ た っ て：授業の中ではほぼ毎回資料を配布するので、出席すること。



# 臨床心理学入門 1

Intoroduction to Clinical Psychology 1

2 単位

|         |                  |               |                   |
|---------|------------------|---------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学         | 担 当 教 員 氏 名   | 金沢 晃 准教授          |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/10 ~ 7/31) | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 火曜日 17:50 ~ 19:20 |
| 対 象 学 年 | 全学年              | 募 集 人 員       | 教室収容可能な人数         |

|         |   |                              |  |
|---------|---|------------------------------|--|
| 科 目 内 容 | 臨床心理学は、心理的問題を抱える個人の状態を理解（アセスメント）し、適切な援助を行うための基礎となる学問です。この講義では、精神疾患を中心に取り上げ、理解を深めます。 |                              |  |
|         | 各回内容  |                              |  |
|         | 1   | ガイダンスー 臨床心理学とはー              |  |
|         | 2   | 統合失調症（1）ー 概念の変遷と疫学ー          |  |
|         | 3   | 統合失調症（2）ー 症状と類型、治療ー          |  |
|         | 4   | 統合失調症（3）ー 事例を通して学ぶー          |  |
|         | 5   | 依存症（1）ー 症状ー                  |  |
|         | 6   | 依存症（2）ー 世代間伝達の問題ー            |  |
|         | 7   | 摂食障害（1）ー 類型と症状ー              |  |
|         | 8   | 摂食障害（2）ー 摂食障害とパーソナリティー       |  |
|         | 9   | パーソナリティ障害（1）ー 「17歳のカルテ」を通してー |  |
|         | 10  | パーソナリティ障害（2）ー 境界性パーソナリティ障害ー  |  |
|         | 11  | パーソナリティ障害（3）ー 反社会性人格障害ー      |  |
|         | 12  | パーソナリティ障害（4）ー こころの成長と心的な死ー   |  |
|         | 13  | 自傷行為                         |  |
| 14      | アイデンティティの確立ー 青年期の発達課題ー  |                              |  |
| 15      | 前期のまとめ  |                              |  |

評 価 方 法：講義中に課す課題（45%）および、理解度を問うテスト（55%）で評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：講義中に課す課題に積極的に取り組むこと。私語は差し控えること。講義中のスマホの使用は認められません。

# 国際取引法 1

International Trade Law I

2 単位

|         |                 |             |                   |
|---------|-----------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学        | 担 当 教 員 氏 名 | 植田 淳 教授           |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/12 ~ 8/2) | 開 講 曜 日・時 間 | 木曜日 17:50 ~ 19:20 |
| 対 象 学 年 | 全学年             | 募 集 人 員     | 50 名程度            |

|         |   |             |
|---------|---|-------------|
| 科 目 内 容 | 貿易取引を中心とした種々の国際取引について、法的・実務的観点からわかりやすく解説する。前期の「国際取引法 1」で、貿易取引を中心とした総論を、後期の「国際取引法 2」で各論的諸問題を扱う（なお、諸般の都合により、以下の通りに進まない場合もありうる）。 |             |
|         | 各回内容  |             |
|         | 1   | 国際取引法の意義と特色 |
|         | 2   | 貿易取引の全体像 I  |
|         | 3   | 貿易取引の全体像 II |
|         | 4   | 英文契約書 I     |
|         | 5   | 英文契約書 II    |
|         | 6   | 英文契約書 III   |
|         | 7   | 国連物品売買条約    |
|         | 8   | インコタームズ I   |
|         | 9   | インコタームズ II  |
|         | 10  | 外国為替 I      |
|         | 11  | 外国為替 II     |
|         | 12  | 国際物品運送 I    |
|         | 13  | 国際物品運送 II   |
|         | 14  | 国際貨物保険      |
| 15      | 要点のまとめ  |             |

評 価 方 法：期末試験によって評価する。単位取得については、一定の出席要件を課する。詳しくは、初回に説明する。

教 科 書：植田 淳著『国際ビジネスのための英米法入門 第3版』（法律文化社）

参 考 図 書：木棚ほか編『プライマリー国際取引法』（法律文化社）  
 澤田ほか編著『マテリアルズ国際取引法（第3版）』（有斐閣）  
 佐野 寛『国際取引法（第4版）』（有斐閣）  
 Schmitthoff's Export Trade (12th ed.) (Sweet & Maxwell)

履 修 に あ た っ て：私語・居眠り等の授業妨害行為は、厳禁。退室を求めることがある。

# ヨーロッパ地域論 2

Area Studies of Europe 2

2 単位

|         |                              |             |                   |
|---------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学                     | 担 当 教 員 氏 名 | 中沢 (並河) 葉子 教授     |
| 開 講 期 間 | 後期 (10/1 ~ 12/17・1/7 ~ 2/18) | 開 講 曜 日・時 間 | 月曜日 17:50 ~ 19:20 |
| 対 象 学 年 | 全学年                          | 募 集 人 員     | 20 名程度            |

|         |  |                  |
|---------|--|------------------|
| 科 目 内 容 | ヨーロッパ地域論 1 の内容を踏まえて、ヨーロッパ地域が共有している特性と多様性の両面について、とくに家族システムに注目して検討しながら、統合の進む EU の将来を考える。 |                  |
|         | 各回内容   |                  |
|         | 1  | ガイダンス            |
|         | 2  | ヨーロッパの多様性：家族システム |
|         | 3  | 識字率の推移           |
|         | 4  | 家族システムと人口動態      |
|         | 5  | 身分制社会            |
|         | 6  | 近代的権利概念の生成       |
|         | 7  | 政治体制             |
|         | 8  | ヨーロッパ近代社会の特性     |
|         | 9  | ヨーロッパと非ヨーロッパ世界   |
|         | 10   | 世俗化、自由主義         |
|         | 11   | 新しい文化の誕生         |
|         | 12   | 社会保障の多様性と家族      |
|         | 13   | 大衆教育の時代          |
| 14      | まとめ  |                  |
| 15      | 試験   |                  |

評 価 方 法：試験またはレポートにより評価する。

教 科 書：とくに指定しない。

参 考 図 書：授業の中で随時紹介する。

履 修 に あ た っ て：毎回ハンドアウトを配布するので、出席すること。

# 臨床心理学入門 2

Intoroduction to Clinical Psychology 2

2 単位

|         |                             |              |                   |
|---------|-----------------------------|--------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学                    | 担 当 教 員 氏 名  | 金沢 晃 准教授          |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/25 ~ 12/18・1/8 ~ 2/5) | 開 講 曜 日・ 時 間 | 火曜日 17:50 ~ 19:20 |
| 対 象 学 年 | 全学年                         | 募 集 人 員      | 教室収容可能な人数         |

|         |   |                                  |  |
|---------|---|----------------------------------|--|
| 科 目 内 容 | 臨床心理学は、心理的問題を抱える個人の状態を理解（アセスメント）し、適切な援助を行うための基礎となる学問です。この講義では、こころの発達を考える上で有用なアタッチメントについて学びます。また、前期と同様に、精神疾患について学び、また、映画を通してこころの発達について考えてみたいと思います。 |                                  |  |
|         | 各回内容  |                                  |  |
|         | 1   | ガイダンス — 精神科医療の現状と課題 —            |  |
|         | 2   | アタッチメントと愛情剥奪                     |  |
|         | 3   | アタッチメントパターン                      |  |
|         | 4   | 問題のあるアタッチメント                     |  |
|         | 5   | 感情の発達とアタッチメント                    |  |
|         | 6   | アタッチメント障害と少年犯罪                   |  |
|         | 7   | うつ病 (1) — 症状、病前性格 —              |  |
|         | 8   | うつ病 (2) — 治療について —               |  |
|         | 9   | 現代型うつ病 — 症状の特徴と治療 —              |  |
|         | 10  | 認知症 (1) — ドラマ「純と愛」に見る認知症 —       |  |
|         | 11  | 認知症 (2) — 症状とアセスメント —            |  |
|         | 12  | 認知症 (3) — 回想療法 —                 |  |
|         | 13  | 思春期のこころの発達 (1) — 「千と千尋の神隠し」を通して— |  |
|         | 14  | 思春期のこころの発達 (2) — 自立について—         |  |
| 15      | 後期のまとめ  |                                  |  |

評 価 方 法：講義中に課す課題（45%）および、理解度を問うテスト（55%）で評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：講義中に課す課題に積極的に取り組むこと。私語など、講義の妨げ、他の受講生の迷惑になるような行為は差し控えること。

講義中のスマホの使用は認められません。

|         |                         |             |                 |
|---------|-------------------------|-------------|-----------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学                | 担 当 教 員 氏 名 | 長沼 美香子 教授 他     |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/26～12/12・1/9～2/6) | 開 講 曜 日・時 間 | 水曜日 18:15～19:45 |
| 対 象 学 年 | 全学年                     | 募 集 人 員     | 15 名程度          |

|         |   |                                     |
|---------|---|-------------------------------------|
| 科 目 内 容 | <p>現在、日本に在住する外国人の数は 200 万人を超え、また訪日する外国人は 2000 万人を突破し、外国人が日本で医療を受ける機会は 2020 年の東京五輪を控えて急増しています。その際、言語や文化の違いのために、さまざまな問題に直面します。こうした場面で活躍するのが医療通訳であり、医療通訳コーディネーターです。厚生労働省もその育成に非常に力を注いでいます。</p> <p>この講義は、神戸市外国語大学と神戸市看護大学が協力して実施する、語学を学ぶ人、看護学・医学を学ぶ人の接点となるユニークな授業です。将来医療通訳として活躍してみたい人、コーディネーターを志したい人のための入門講座で、今年度が 6 回目です。</p> <p>これまで上記 2 大学だけでなく、兵庫県立大学看護学部や神戸芸術工科大学、また外国籍の人や大学院生の皆さんも熱心に受講して、毎回それぞれの視点からの活発な討議がおこなわれ、大きな成果をあげました。異文化理解や医療制度、医療英語などの講義に加えて、ロールプレイによる医療通訳の演習も行います。言語は英語を主体にしますが、中国語、スペイン語にも触れます（予備知識のない人も歓迎します）。</p> |                                     |
|         | 各回内容  |                                     |
|         | 1   | 医療通訳とは：中村 安秀（甲南女子大学）                |
|         | 2   | 医療通訳の現状：村松 紀子（医療通訳研究会 (MEDINT)）     |
|         | 3   | 感染症対策：山下 正（神戸市看護大学）                 |
|         | 4   | 医療制度・診療の流れ：益 加代子（愛知県立大学）            |
|         | 5   | 通訳の基本：長沼 美香子（神戸市外国語大学）              |
|         | 6   | 母子保健（妊娠・出産・育児）：嶋澤 恭子（神戸市看護大学）       |
|         | 7   | 外国人医療の現状、ナースとして：新垣 智子（りんくう総合医療センター） |
|         | 8   | 精神保健：植本 雅治（神戸市看護大学）                 |
|         | 9   | 異文化間コミュニケーション：山口 征孝（神戸市外国語大学）       |
|         | 10  | 医療通訳 1: 川越 栄子（神戸女学院大学）              |
|         | 11  | 医療通訳 2: 川越 栄子（神戸女学院大学）              |
|         | 12  | 演習 1（英語）：松岡 綾子（医療通訳者）               |
|         | 13  | 演習 2（英語）：松岡 綾子（医療通訳者）               |
|         | 14  | 演習 3（中国語）：岡本 悠馬（中国語医療通訳者・鍼灸師）       |
|         | 15  | 演習 4（スペイン語）：松村 太（バイエル薬品・医師）         |
| 16      | 試験  |                                     |

評 価 方 法：平常点（50%）および演習・試験（50%）で評価する。

教 科 書：指定しない。毎回プリントを配布する。

参 考 図 書：中村 安秀・南谷 かおり 編（2013）『医療通訳士という仕事』大阪大学出版会  
村松 紀子・連 利博・阿部 裕 編著（2015）『実践医療通訳』松柏社  
その他、講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：演習ではロールプレイなどを行う。

# 国際取引法 2

International Trade Law 2

2 単位

|         |                              |             |                   |
|---------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学                     | 担 当 教 員 氏 名 | 植田 淳 教授           |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/27 ~ 12/13・1/10 ~ 2/7) | 開 講 曜 日・時 間 | 木曜日 17:50 ~ 19:20 |
| 対 象 学 年 | 全学年                          | 募 集 人 員     | 50 名程度            |

|         |   |                |
|---------|---|----------------|
| 科 目 内 容 | 国際取引法における各論的諸問題を扱う。前期の「国際取引法 1」を履修していることを前提に講義を進める（なお、諸般の都合により、以下の通り進まないこともありうる）。 |                |
|         | 各回内容  |                |
|         | 1   | 品質不良をめぐる紛争 I   |
|         | 2   | 品質不良をめぐる紛争 II  |
|         | 3   | 不可抗力とハードシップ I  |
|         | 4   | 不可抗力とハードシップ II |
|         | 5   | 国際取引契約の主要条項    |
|         | 6   | 国際取引の法主体と国際租税法 |
|         | 7   | 国際技術移転         |
|         | 8   | 国際投資           |
|         | 9   | 国際金融           |
|         | 10  | 国際取引紛争の解決 I    |
|         | 11  | 国際取引紛争の解決 II   |
|         | 12  | 国際倒産           |
|         | 13  | 国際経済法 I        |
|         | 14  | 国際経済法 II       |
| 15      | 要点のまとめ  |                |

評 価 方 法：期末試験によって評価する。単位取得については、一定の出席要件を課する。詳しくは、初回に説明する。

教 科 書：植田淳著『国際ビジネスのための英米法入門 第3版』（法律文化社）

参 考 図 書：澤田ほか編著『マテリアルズ国際取引法（第3版）』（有斐閣）

木棚ほか編『プライマリー国際取引法』（法律文化社）

佐野寛『国際取引法（第4版）』（有斐閣）

Schmitthoff's Export Trade (12th ed.) (Sweet & Maxwell)

履 修 に あ た っ て：私語・居眠り等の授業妨害行為は、厳禁。退室を求めることがある。

# エコロジー経済学

Ecological Economics

4 単位

|         |                |               |                   |
|---------|----------------|---------------|-------------------|
| 大 学 名   | 兵庫県立大学         | 担 当 教 員 氏 名   | 三俣 学 教授           |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/9 ~ 8/6) | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 月曜日 16:30 ~ 19:45 |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上         | 募 集 人 員       |                   |

|         |  |                               |  |
|---------|--|-------------------------------|--|
| 科 目 内 容 | 生態系における物質循環の仕組みを学ぶとともに、それを基盤として存立する人間の経済社会がいかなる制度・社会的条件のもとで持続可能となるのかについて、具体的な事例に基づき理解を深めることを目的とする。 |                               |  |
|         | 各回内容   |                               |  |
|         | 1  | ガイダンス (履修上の注意事項などについて)        |  |
|         | 2  | エコロジー経済学の射程                   |  |
|         | 3  | 標準的な経済学に基づく環境問題の解法            |  |
|         | 4  | コースの定理とピグー税                   |  |
|         | 5  | 資源環境問題に示唆を与えた経済学者             |  |
|         | 6  | 経済活動と公害 環境問題のポリティクス           |  |
|         | 7  | 物質循環論 (1) めぐる命の輪              |  |
|         | 8  | 物質循環論 (2) サケの果たす栄養循環          |  |
|         | 9  | 物質循環論 (3) 海・陸・大気の循環           |  |
|         | 10   | 物質循環論 (4) 熊沢蕃山・鵜の山モデル         |  |
|         | 11   | エントロピー論 (1)                   |  |
|         | 12   | エントロピー論 (2)                   |  |
|         | 13   | 公共事業としての河川管理に見る物質循環の断絶        |  |
|         | 14   | ケーススタディ 荒瀬ダム撤去に見る循環の回復        |  |
|         | 15   | 政府の役割とその機能不全                  |  |
|         | 16   | コモンズ論の理論 国内での議論 (1)           |  |
|         | 17   | コモンズ論の理論 国内での議論 (2)           |  |
|         | 18   | 社会的共通資本の理論                    |  |
|         | 19   | コモンズ論の理論 海外での議論 (1)           |  |
|         | 20   | コモンズ論の理論 海外での議論 (2)           |  |
|         | 21   | 日本の森林事情                       |  |
|         | 22   | ケーススタディ (1) 「日本の入会」 の歴史的変遷と林政 |  |
|         | 23   | ケーススタディ (2) 森林コモンズ①           |  |
|         | 24   | ケーススタディ (3) 森林コモンズ②           |  |
|         | 25   | 環境ガバナンス論                      |  |
|         | 26   | ケーススタディ (1) 英国の開放型コモンズ        |  |
|         | 27   | ケーススタディ (2) 英国の開放型コモンズ        |  |
|         | 28   | ケーススタディ (3) 自然アクセス権・北欧の万人権    |  |
| 29      | ケーススタディ (4) 自然アクセス権・北欧の万人権   |                               |  |
| 30      | まとめー環境資源の持続的利用と管理のための条件  |                               |  |

評 価 方 法：原則的試験のみ。講義中に視聴するビデオの感想や参加型講義（可能な場合のみ）を行うが、これらへの参加・貢献は加点対象とする。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：三俣 学編 (2014) 『エコロジーとコモンズ』晃洋書房

履 修 に あ た っ て：特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。

基礎経済学を履修していることが望ましい。

講義中は私語を慎み他の受講生の迷惑にならないようにすること。



# 組織の経済学

organizational economics

4 単位

|         |                        |             |  |
|---------|------------------------|-------------|--|
| 大 学 名   | 兵庫県立大学                 | 担 当 教 員 氏 名 | 清水 隆則 准教授                              |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/9 (月) ~ 8/2 (木)) | 開 講 曜 日・時 間 | 月曜日 16:30 ~ 18:00<br>木曜日 16:30 ~ 18:00 |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上                 | 募 集 人 員     | 指定しない。                                 |

|         |   |                                 |
|---------|---|---------------------------------|
| 科 目 内 容 | 講義目的は、組織の経済学の3つの代表的な理論を理解することである。<br>到達目標は、組織が何故形成され、組織の形態はどのようにして決まるかを経済学的に説明することができるようになることである。 |                                 |
|         | 各回内容  |                                 |
|         | 1   | 取引コスト理論：基本原理                    |
|         | 2   | 取引コスト理論：組織デザイン                  |
|         | 3   | 取引コスト理論：経営戦略                    |
|         | 4   | 取引コスト理論：多国籍企業                   |
|         | 5   | 取引コスト理論：コーポレート・ファイナンス、組織・戦略の不条理 |
|         | 6   | エージェンシー理論：基本原理                  |
|         | 7   | エージェンシー理論：アドバース・セクション、モラル・ハザード  |
|         | 8   | エージェンシー理論：コーポレート・ガバナンス          |
|         | 9   | エージェンシー理論：組織形態、人事労務             |
|         | 10  | エージェンシー理論：コーポレート・ファイナンス、組織の不条理  |
|         | 11  | 所有権理論：基本原理                      |
|         | 12  | 所有権理論：環境問題との関係                  |
|         | 13  | 所有権理論：企業組織                      |
|         | 14  | 所有権理論：経営戦略                      |
|         | 15  | 所有権理論：組織・戦略の不条理                 |
| 16      | 試験  |                                 |

評 価 方 法：期末試験 60% と平常点 40%。

教 科 書：菊澤 研宗『組織の経済学入門—新制度派経済学アプローチ 改訂版』有斐閣、2016 年。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：講義内容の復習を定期的に行うこと。

# 応用経済分析

Applied Economics

4 単位

|         |                             |             |                   |
|---------|-----------------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 兵庫県立大学                      | 担 当 教 員 氏 名 | 横山 由紀子 教授         |
| 開 講 期 間 | 後期 (10/2 ~ 12/18・1/8 ~ 2/5) | 開 講 曜 日・時 間 | 火曜日 16:30 ~ 19:45 |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上                      | 募 集 人 員     | 40 名程度            |

|         |   |                      |
|---------|---|----------------------|
| 科 目 内 容 | 労働市場に関することや身近な社会問題・時事問題を題材に、グループ・ディスカッションを行う。「考える力」「伝える力」の養成を目標とする。 |                      |
|         | 各回内容  |                      |
|         | 1   | ガイダンス                |
|         | 2   | 結婚                   |
|         | 3   | 離婚                   |
|         | 4   | 家族 (1)               |
|         | 5   | 家族 (2)               |
|         | 6   | 性的マイノリティ (1)         |
|         | 7   | 性的マイノリティ (2)         |
|         | 8   | 少子化・出産 (1)           |
|         | 9   | 少子化・出産 (2)           |
|         | 10  | 女性の就業 (1)            |
|         | 11  | 女性の就業 (2)            |
|         | 12  | 女性の就業 (3)            |
|         | 13  | 高齢化 (1)              |
|         | 14  | 高齢化 (2)              |
|         | 15  | 高齢化 (3)              |
|         | 16  | 教育問題 (1)             |
|         | 17  | 教育問題 (2)             |
|         | 18  | 貧困と格差 (1)            |
|         | 19  | 貧困と格差 (2)            |
|         | 20  | 所得保障の在り方 (1)         |
|         | 21  | 所得保障の在り方 (2)         |
|         | 22  | 労働市場に関する時事トピック (1)   |
|         | 23  | 労働市場に関する時事トピック (2)   |
|         | 24  | 労働市場に関する時事トピック (3)   |
|         | 25  | 労働市場に関する時事トピック (4)   |
|         | 26  | 労働市場に関する時事トピック (5)   |
|         | 27  | 社会保障制度に関する時事トピック (1) |
|         | 28  | 社会保障制度に関する時事トピック (2) |
|         | 29  | 社会保障制度に関する時事トピック (3) |
| 30      | まとめ   |                      |
| 31      | 評価 (到達度の確認)   |                      |

評 価 方 法： 議論参加点 (50%)、課題・小テスト (25%)、期末テスト (25%) で評価する。

教 科 書： 指定しない。

参 考 図 書： 講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て： 毎回の授業への出席し、議論に積極的に参加すること。

論述練習 (小テスト) およびディスカッションの際、人前でアドバイスをを行う場合があります。

# 情報メディア論

Information and Multimedia Technology

4 単位

|         |                             |             |                   |
|---------|-----------------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 兵庫県立大学                      | 担 当 教 員 氏 名 | 古隅 弘樹 准教授         |
| 開 講 期 間 | 後期 (10/2 ~ 12/18・1/8 ~ 2/5) | 開 講 曜 日・時 間 | 火曜日 16:30 ~ 19:45 |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上                      | 募 集 人 員     | 30 名程度            |

|         |   |                   |  |
|---------|---|-------------------|--|
| 科 目 内 容 | メディアの歴史から技術の発展を概観し、メディアの特性による情報伝達の違いや技法について詳解する。また、関連する課題に取り組むことでメディアリテラシーを高める。 |                   |  |
|         | 各回内容  |                   |  |
|         | 1   | ガイダンス、情報・メディアとは何か |  |
|         | 2   | メディアの歴史 1 印刷技術    |  |
|         | 3   | メディアの歴史 2 通信技術    |  |
|         | 4   | メディアの歴史 3 音声技術    |  |
|         | 5   | メディアの歴史 4 映像技術    |  |
|         | 6   | メディアの歴史 5 計算技術    |  |
|         | 7   | マスメディア 1 テレビ      |  |
|         | 8   | マスメディア 2 ラジオ      |  |
|         | 9   | マスメディア 3 災害・防災    |  |
|         | 10  | マスメディア 4 広告・雑誌    |  |
|         | 11  | マスメディア 5 インターネット  |  |
|         | 12  | 素材の特性 1 配色と図形     |  |
|         | 13  | 素材の特性 2 情報表現      |  |
| 14      | マスメディアの将来   |                   |  |
| 15      | 試験  |                   |  |

評 価 方 法：出席や提出物による平常評価（20～30%）、および試験（70～80%）により評価する。

教 科 書：毎回の資料を配布予定。

参 考 図 書：西端 律子他『メディアリテラシー』実教出版（2004 年）  
橋元 良昭『メディアと日本人：変わりゆく日常』岩波新書（新赤版）1298（2011 年）  
渡辺 武達他『メディア学の現在：新訂第 2 版』世界思想社（2015 年）

履 修 に あ た っ て：情報科学概論など、情報関連の入門科目を履修済みであることが望ましい。原則として、出席回数が講義回数の 2/3 以上の受講者を評価の対象とする。

# 観光施設計画論

Theory on Planning of Tourist facility

2 単位

|         |                  |               |                   |
|---------|------------------|---------------|-------------------|
| 大 学 名   | 流通科学大学           | 担 当 教 員 氏 名   | 小久保 恵三 教授         |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/10 ~ 7/17) | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 火曜日 18:15 ~ 19:45 |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上           | 募 集 人 員       | 40 名程度            |

|         |   |                       |
|---------|---|-----------------------|
| 科 目 内 容 | <p>観光施設計画は観光計画の一部でもあり、詳細計画・部分計画でもあります。観光計画が公的な性格を含むのに対して、観光施設計画はよりフィージブルなものでなくてはなりません。そのためには、開発の与件やその土地の性格を正しく理解し、競合やトレンドを見ながら、「何」を「どのように」、「どのような時間的スパンで」実現させていくかを見極めることが必要です。それらはすべて事業として成立する、という前提で計画されなければなりません。フィージビリティ・スタディでは投資額算定や売上高の予測、要員計画の策定なども行います。この科目では、対象を集客施設とします。観光施設にはその他にホテルのような宿泊施設やスキー場など、あらかじめ開発の内容にそれほど大きな差のないものもありますが、「どのような施設にするか」ということを原点から学ぶために、あえて集客施設という条件を設定しました。</p> <p>具体的な学習内容は、授業計画に示す通りですが、座学だけでは十分な理解には至らないと思われるため、演習的な要素を含めます。与えられた課題に関して作業レポートの提出を要求します。到達目標は観光施設の計画の前提として「計画」とは何かという理念が理解でき、次に具体的な観光施設の計画技術を習得することを目指します。すなわち需要の予測やコンセプトの立案、動線計画、投資額の積算、経費の計算などの基礎的な算出手順を理解することになります。</p> |                       |
|         | 各回内容  |                       |
|         | 1   | 第一部 原論編 / 観光計画とは      |
|         | 2   | 観光計画に関する基本事項          |
|         | 3   | 観光計画策定の必要性和計画の秩序      |
|         | 4   | 観光計画の精度               |
|         | 5   | 計画作業の実際               |
|         | 6   | 第二部 観光施設計画演習 / ケースの学習 |
|         | 7   | マリーナシティの概要            |
|         | 8   | 与件 / 水族館の基礎知識         |
|         | 9   | 水族館の理念とコンセプト          |
|         | 10  | 機能とゾーニング              |
|         | 11  | 利用者推計と売上高             |
|         | 12  | 開発規模の算定と施設配置・投資計画     |
|         | 13  | 要員計画・営業経費             |
|         | 14  | 事業収支計画の算定と GOP        |
| 15      | 長期資金収支と事業の可否  |                       |

評 価 方 法：各セクションごとに課題を与えます。おおむね 10 回程度になります。内容は簡単な観光施設のコンセプトプランであったり、各種の経営計算シミュレーションで、エクセルを使用します。評価の基準は課題レポートの提出やプレゼンテーションで評価します。

教 科 書：プリントを配布します。

参 考 図 書：ラック計画研究所『観光計画論』（技法堂）

履 修 に あ た っ て：①単に履修制限を超えて単位を取得することを目的にしていると、後悔することになります。単位取得はかなり難しい科目です。

②座席指定をします。

③スマホは電源を切ること。講義中にスマホをいじっている場合は無条件に履修を無効にします。特に注意はしないので注意してください。

④ただし、講義中に計算を行うことがあるので、その際はスマホの使用は OK です。

# 証券論

Investments

2 単位

|         |                              |             |                   |
|---------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 流通科学大学                       | 担 当 教 員 氏 名 | 福田 司文 教授          |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/25 ~ 12/18・1/8 ~ 1/22) | 開 講 曜 日・時 間 | 火曜日 18:15 ~ 19:45 |
| 対 象 学 年 | 3 年生以上                       | 募 集 人 員     | 50 名程度            |

|         |   |                    |
|---------|---|--------------------|
| 科 目 内 容 | 現代の証券市場を構成する株式と債券を中心に証券取りの仕組みと証券投資の問題を講義する。投資においては株式、債券の評価、分析が重要であるがこの点について統一的な理解が得られるよう基礎概念を中心に講義する。 |                    |
|         | 各回内容  |                    |
|         | 1   | 導入：証券の役割           |
|         | 2   | 経済活動と金融システム        |
|         | 3   | 株式の種類、株式売買         |
|         | 4   | 株式 上場制度、特徴的な取引 (1) |
|         | 5   | 株式 上場制度、特徴的な取引 (2) |
|         | 6   | 株式の種類と様々な発行方法      |
|         | 7   | 財務諸表と投資尺度 (1)      |
|         | 8   | 財務諸表と投資尺度 (2)      |
|         | 9   | 株式のリスク             |
|         | 10  | 株価の予測 (1)          |
|         | 11  | 株価の予測 (2)          |
|         | 12  | 債券投資               |
|         | 13  | 投資信託 (1)           |
| 14      | 投資信託 (2)  |                    |
| 15      | まとめ   |                    |

※以上は予定の内容である。受講生の理解力によっては内容を変更する可能性もあることも了承してほしい。一つのトピックスを複数回に分けて授業するので、全部カバーできないかもしれない。

評 価 方 法： 期末試験 70%、授業中の復習クイズ、出席で 30%。

教 科 書： 配付資料によって授業を進める。

参 考 図 書： 榊原・城下・姜・福田・岡村、『入門証券論』、有斐閣。  
川北、『テキスト株式・債券投資』、中央経済社。

履 修 に あ た っ て： トピックごとに学習内容を簡単なクイズで復習するように努める。

要求されるクイズをしっかりと理解すれば、期末試験には困りません。そのためにも、手を抜かず出席してください。

# 臨床心理学

Clinical Psychology

2 単位

|         |                              |             |                   |
|---------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 流通科学大学                       | 担 当 教 員 氏 名 | 岩崎 久志 教授          |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/25 ~ 12/18・1/8 ~ 1/22) | 開 講 曜 日・時 間 | 火曜日 18:15 ~ 19:45 |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上                       | 募 集 人 員     | 50 名程度            |

|         |  |                   |  |
|---------|--|-------------------|--|
| 科 目 内 容 | 近年、様々な社会現象と関連して「こころ」の問題に対する興味が高まっており、臨床心理学の応用分野も拡大してきている。臨床心理学の知識は、単にヘルスケアの基礎としてだけでなく、広くヒューマンサービスの領域で仕事をする場合にも不可欠と思われるが、必ずしも正確に理解されていないのが現状のようである。本講では臨床心理学の歴史や対象、方法、そして具体的な技術等について学ぶことを主題とする。 |                   |  |
|         | 各回内容   |                   |  |
|         | 1  | 臨床心理学とは           |  |
|         | 2  | 臨床心理学の歴史          |  |
|         | 3  | 対人援助に活かす臨床心理学     |  |
|         | 4  | 臨床心理学と関連領域        |  |
|         | 5  | 対人援助職としての基本       |  |
|         | 6  | 主要理論①(精神分析)       |  |
|         | 7  | 主要理論②(来談者中心療法)    |  |
|         | 8  | 主要理論③(行動療法)       |  |
|         | 9  | その他の療法(認知行動療法など)  |  |
|         | 10   | 援助の方法①            |  |
|         | 11   | 援助の方法②            |  |
|         | 12   | チーム支援とコミュニケーション技術 |  |
|         | 13   | 心理アセスメントの基礎       |  |
| 14      | 臨床心理学の課題   |                   |  |
| 15      | 試験   |                   |  |

評 価 方 法：出席等および小レポートの内容が40%、定期試験が60%の配分(予定)とする。

教 科 書：岩崎 久志『看護・チーム支援に活かすカウンセリング-対人援助、他職種連携に必要なコミュニケーション技術-』晃洋書房 2014年

参 考 図 書：教科書を毎回使用する。

履 修 に あ た っ て：本講義は、看護・医療・福祉さらに教育といった広義の対人援助に関心を持つ人の受講を期待する。教科書に沿って進めていくため、毎回携行すること。また、心理学の基礎に関する授業をすでに履修済みであることが望ましい。

# 地域学

Regional Study

2 単位

|         |                  |              |                   |
|---------|------------------|--------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市立工業高等専門学校     | 担 当 教 員 氏 名  | 八百 俊介 教授          |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/10 ~ 7/24) | 開 講 曜 日・ 時 間 | 火曜日 18:15 ~ 19:45 |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上           | 募 集 人 員      | 40 名程度            |

|         |   |                  |
|---------|---|------------------|
| 科 目 内 容 | 地域の安全と環境を守るのは誰なのか。「住みやすいまち」は、どのようにつくられるのか。「自治会」という名の共同体について現状を把握した上で今後の課題についてデータをもとに考察していく。 |                  |
|         | 各回内容  |                  |
|         | 1   | 地域社会の位置づけ        |
|         | 2   | 地域社会の組織構造        |
|         | 3   | 地域社会の機能分類        |
|         | 4   | 機能の変化と要因 1       |
|         | 5   | 機能の変化と要因 2       |
|         | 6   | 機能の変化と要因 3       |
|         | 7   | 組織再編 — 人の確保 1 —  |
|         | 8   | 組織再編 — 人の確保 2 —  |
|         | 9   | 組織再編 — 人の確保 3 —  |
|         | 10  | 活動と領域 — 場と空間 1 — |
|         | 11  | 活動と領域 — 場と空間 2 — |
|         | 12  | 活動と領域 — 場と空間 3 — |
|         | 13  | 会計 — 財源と使い道 1 —  |
|         | 14  | 会計 — 財源と使い道 2 —  |
| 15      | 会計 — 財源と使い道 3 —   |                  |

評 価 方 法：定期試験 90%、レポート 10%

教 科 書：授業時にレジュメを配布

参 考 図 書：授業時に紹介

履 修 に あ た っ て：全体を通じて意味を成すので、その点を心がけることを望む。



# 現代思想文化論

*A Study of Modern Thinkings and Culture*

2 単位

|         |                 |             |                   |
|---------|-----------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市立工業高等専門学校    | 担 当 教 員 氏 名 | 手代木 陽 教授          |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/12 ~ 8/2) | 開 講 曜 日・時 間 | 木曜日 18:15 ~ 19:45 |
| 対 象 学 年 | 全学年             | 募 集 人 員     | 60 名程度            |

|         |   |                                      |  |
|---------|---|--------------------------------------|--|
| 科 目 内 容 | グローバル化の進行に伴い、アメリカをはじめとする西欧自由主義諸国の政治経済のシステムの支配が全世界に拡大する一方で、国家、民族、宗教、文化間においてこれまでにない新たな対立や格差が生じている。こうした対立や格差を解消するためには「地球全体」という視点が不可欠であるが、「地球全体」がいかなる全体であるかは必ずしも明らかではない。本講義では様々な倫理的対立の諸問題を取り上げながら、「地球全体」という視点をどこに見出すべきかを探求する。 |                                      |  |
|         | 各回内容  |                                      |  |
|         | 1   | グローバル化と倫理的課題                         |  |
|         | 2   | 市場社会に正義はあるか?—暴走電車の倫理                 |  |
|         | 3   | マイノリティを優遇することは平等か?—アフターマティブ・アクションの是非 |  |
|         | 4   | 先進国には途上国を助ける義務があるか?—P. シンガーの倫理観      |  |
|         | 5   | 正義のための戦争は許されるか?—正戦論の是非               |  |
|         | 6   | 永遠平和は実現できるか?—カントの平和論の射程              |  |
|         | 7   | 異文化は相互に理解しあえるか?—C. テイラーの多文化主義        |  |
|         | 8   | 鯨は賢い動物だから食べてはいけないか?—捕鯨問題を巡る対立        |  |
|         | 9   | ビジネスとして代理出産をしてもよいか?—市場社会と生命倫理        |  |
|         | 10  | 「人間の尊厳」はグローバル・スタンダードか?—日本とドイツの生命倫理   |  |
|         | 11  | プロスポーツ選手は幹細胞で筋力増強してもよいか?—エンハンスメントの是非 |  |
|         | 12  | 市場社会は環境問題を解決できるか?—排出権取引の是非           |  |
|         | 13  | 人類は生存すべきか?—H. ヨナスの世代間倫理              |  |
| 14      | 人間は自然と「和解」できるか?—マイヤー=アービッヒの環境倫理   |                                      |  |
| 15      | まとめ   |                                      |  |

評 価 方 法：毎時間その日のテーマに関して小レポートを提出してもらう。これを評価の5割とする。後の5割は試験で評価する（統一試験が不可能な場合には課題レポートをこれに代える）。どちらも自分の考えをどれだけ論理的に展開できているかどうか、またその独創性が評価の基準になる。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義で随時指示する。

履 修 に あ た っ て：予備知識は一切必要なし。自分の頭で考える訓練が大事である。

# 応用倫理学

Applied Ethics

2 単位

|         |                               |             |                   |
|---------|-------------------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市立工業高等専門学校                  | 担 当 教 員 氏 名 | 手代木 陽 教授          |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/27 ~ 12/20・1/10 ~ 1/24) | 開 講 曜 日・時 間 | 木曜日 18:15 ~ 19:45 |
| 対 象 学 年 | 全学年                           | 募 集 人 員     | 40 名程度            |

|         |   |  |  |
|---------|---|--|--|
| 科 目 内 容 | 倫理学の根本問題は「人間はいかに生きるべきか」ということである。この講義では科学技術と人間の生き方の問題を考える。科学技術の進歩が現代社会に投げかけている諸問題は科学的・政治的であると同時に、勝れて倫理的問題でもある。その根本には「人間はいかに生きるべきか」という問いがあるからである。この点を生命倫理・環境倫理・情報倫理の問題を通して考えてみたい。 |  |  |
|         | 各回内容  |  |  |
|         | 1   | 応用倫理学とは？—「人間」への問い                            |  |
|         | 2   | 人間とは？—ヒトと類人猿と AI の差異                         |  |
|         | 3   | 科学技術と人間—ハンス・ヨナスの技術観                          |  |
|         | 4   | 人間の生死と技術 (1) 患者の意思に応じた尊厳死や安楽死は許されるか？         |  |
|         | 5   | 人間の生死と技術 (2) 脳死は「人の死」か？—「死の定義」の問題            |  |
|         | 6   | 人間の生死と技術 (3) 臓器移植で 10 人を救うために 1 人を犠牲にしてもよいか？ |  |
|         | 7   | 人間の生死と技術 (4) 胎児に「生存権」はあるか？—人工妊娠中絶の是非         |  |
|         | 8   | 人間の生死と技術 (5) 他人の精子・卵子・子宮で子どもを作ってもよいか？        |  |
|         | 9   | 人間の生死と技術 (6) 遺伝子技術は「人間の尊厳」を傷つけないか？           |  |
|         | 10  | 人間と環境 (1) 市場社会システムで地球温暖化問題を解決できるか？           |  |
|         | 11  | 人間と環境 (2) 未来の人間のために環境を守る義務はあるか？              |  |
|         | 12  | 人間と環境 (3) 生態系を破壊する「移入種」を駆除してもよいか？            |  |
|         | 13  | 人間と情報 (1) IT 革命は人間に何をもたらすか？                  |  |
| 14      | 人間と情報 (2) 人間は AI と共存できるか？   |  |  |
| 15      | まとめ   |  |  |

評 価 方 法：毎時間その日のテーマに関して小レポートを提出してもらおう。これを評価の 5 割とする。後の 5 割は試験で評価する（統一試験が不可能な場合には課題レポートをこれに代える）。どちらも自分の考えをどれだけ論理的に展開できているかどうか、またその独創性が評価の基準になる。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義で随時指示する。

履 修 に あ た っ て：予備知識は一切必要なし。自分の頭で考える訓練が大事である。

# 女性と女性の健康

Womanhood and health

1 単位

|         |         |               |   |
|---------|---------|---------------|---|
| 大 学 名   | 神戸市看護大学 | 担 当 教 員 氏 名   | 高田 昌代 教授<br>嶋澤 恭子 准教授<br>藤井 ひろみ 准教授<br>奥山 葉子 助教<br>平田 恭子 助教<br>細川 由美子 助教<br>滝川 由香里 助教 |
| 開 講 期 間 | 前期      | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 水曜日 16:40 ~ 18:00   |
| 対 象 学 年 | 全学年     | 募 集 人 員       | 未定  |

|         |   |                                       |  |
|---------|---|---------------------------------------|--|
| 科 目 内 容 | 女性の日常生活やライフステージの段階を通じて体験し得る様々な健康問題を取り上げ、その原因や対処方法、ケアについての理解を深める。さらに、健康問題の中には女性に共通した社会問題があり、女性の健康は個人の問題だけでなく、ジェンダーの視点の社会問題としても考えていく。 |                                       |  |
|         | 各回内容  |                                       |  |
|         | 1   | ウイメンズヘルスとは/リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは/ジェンダーとは |  |
|         | 2   | 女性センターに行ってみよう                         |  |
|         | 3   | 女性の健康と患者学 —産婦人科のかかり方                  |  |
|         | 4   | 月経にまつわる障害とその対処                        |  |
|         | 5   | 主体的なお産とは                              |  |
|         | 6   | 更年期女性の健康                              |  |
|         | 7   | 障がいと女性                                |  |
|         | 8   | 陣痛促進剤、会陰切開とお産                         |  |
|         | 9   | 女性とセクシャルヘルス（避妊法を含む）                   |  |
|         | 10  | 人工妊娠中絶の判断とその影響                        |  |
|         | 11  | 不妊にまつわる悩み                             |  |
|         | 12  | ドメスティック・バイオレンス（デート DV を含む）            |  |
|         | 13  | 性暴力被害とケア                              |  |
| 14      | 在日外国人の母子保健  |                                       |  |

※科目内容の順序は、1 回目講義時に提示します。

評 価 方 法：レポート（80%）プレゼンテーション（20%）

教 科 書：

参 考 図 書：「子宮力」日本助産師会出版会  
「女性の看護学」メジカルフレンド社  
「リプロダクティブヘルス/ライツ」メディカ出版  
「ドメスティックバイオレンスの視点」朱鷺書房  
「デート DV Q&A」解放出版  
これ以外の参考文献などは授業中に提示します。  
プリント資料を配布します。

履 修 に あ た っ て：講義は、全体として意味をなすので、毎回出席のこと。講義だけでなく、ワークや視聴覚教材をたくさん取り入れて、体験ができるような教育方法を行います。  
受講生は開講中 1 回、興味のあるテーマについて 5 分程度のプレゼンテーションを課しています。  
少しだけ予習してくることで他の人に自分の主張を伝えることの楽しさを経験できます。  
講義開始時刻は、各大学からのアクセス時間を考慮して、16:40 からとします。

# 社会学

sociology

2 単位

|         |   |              |                   |
|---------|---|--------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市看護大学                                       | 担 当 教 員 氏 名  | 樫田 美雄 准教授         |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/11 ~ 7/25+ 補講が1回)<br>(補講は、4月の開始時までに出す。) | 開 講 曜 日・ 時 間 | 水曜日 18:20 ~ 19:50 |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上  | 募 集 人 員      | 50 名程度            |

|         |   |  |  |
|---------|---|--|--|
| 科 目 内 容 | 講義の前半では、誕生から死に至るまで、人の一生に起こる身近で切実なテーマを通して社会学を学ぶ。(グループワーク方式で学ぶ予定) 人間の生命や生涯を、具体的な事例を通して社会関係・社会構造・時代背景のなかで考える。<br>社会学の今日のエッセンスを、コンパクトにまとめられた教科書を通して学ぶ。<br>講義の後半では、社会学の広がりやさらに理解するために、方法としての相互行為分析と以下の各トピックを学ぶ。すなわち、「相談の社会学」、「災害の社会学」、「セクシャルマイノリティの社会学」、「発達障害の社会学」、「在宅医療の社会学」、「医療情報の社会学」等について学ぶ。これらを通して、社会学的教養を獲得する。1回は街歩きも行いたい。 |  |  |
|         | 各回内容  |  |  |
|         | 1   | 教科書『いのちとライフコースの社会学』の第1章「医療の社会学」                        |  |
|         | 2   | 教科書『いのちとライフコースの社会学』の第5章「生命保険の社会学」                      |  |
|         | 3   | 教科書『いのちとライフコースの社会学』の第7章「看護職の仕事」                        |  |
|         | 4   | 教科書『いのちとライフコースの社会学』の第8章「ライフコース論の現在」                    |  |
|         | 5   | 教科書『いのちとライフコースの社会学』の第11章「年金と世代」                        |  |
|         | 6   | 教科書『いのちとライフコースの社会学』の第16章「認知症の人の『語り』」                   |  |
|         | 7   | 教科書『いのちとライフコースの社会学』の第17章「ハンセン病者の半生」                    |  |
|         | 8   | 社会学史概説・・・市民社会の自己認識の学としての社会学 & 「街歩き」                    |  |
|         | 9   | アイロニーの社会学・・・思わざる効果 (社会的ジレンマ・共有地の悲劇 =NHKTV=)            |  |
|         | 10  | アンジャッシュの漫才の特徴と会話分析 (隣接対・カテゴリー研究)                       |  |
|         | 11  | 「ガラス・コール」と「山形大生死事件 (2011)」(専門家的慎重さ, ほか)                |  |
|         | 12  | 「ハドソン川の奇跡」とレリバンス (有意味性) と街歩き (観察から何がわかるか)              |  |
|         | 13  | 「ガラスの仮面」における「限られた台詞」と「失語症の社会学」と「在宅医療の社会学」 & 「発達障害の社会学」 |  |
|         | 14  | レポート発表会 (レポートをもとに)                                     |  |
| 15      | レポート発表会 (レポートをもとに)  |  |  |

評 価 方 法：平常点 (40%) とレポート (60%)

教 科 書：藤村 正之 2011 『いのちとライフコースの社会学』 弘文堂、2310 円 (税込) ←必購入!  
<http://www.koubundou.co.jp/books/furoku/55149pdf/55149.pdf>, に序文の一部が公開されている。

参 考 図 書：橋本 努 2013 『学問の技法』 ちくま新書、780 円 (税抜)  
串田 秀也・好井 裕明編 2010 『エスノメソドロジーを学ぶ人のために』 世界思想社、2400 円 (税抜)  
D. メイナード著、樫田 美雄・岡田 光弘訳、2004 『医療現場の会話分析』 勁草書房、2900 円 (税抜)  
ヘリテッジ & メイナード編、川島・樫田他訳、2015 『診療場面のコミュニケーション』 勁草書房、3600 円 (税抜)  
山崎 敬一編 2004 『実践エスノメソドロジー入門』 有斐閣、2800 円 (税抜)  
藤村 正之 2008 『<生>の社会学』 東京大学出版会、2800 円 (税抜)

履 修 に あ た っ て：毎回の授業に出席すること。とりわけ初回は、授業概要とコメントシートの書き方を指導するので、必ず出席すること。内容はハードですが、得られるものは大きいはず。志の高い学生諸君の積極的な履修を期待しています。

# 学内提供科目

科目開設大学内で履修する科目です。他大学に行くことによって、新しい発見や幅広い友人関係ができます。ぜひ他大学のキャンパスも体験してみてください。開講期間や休講取扱等については、科目開設大学の規定(程)に基づきます。

## 履修上の注意

1. 講義の期間、曜日及び時間は3月末に配布する時間割で確認をしてください。
2. 授業教室は、科目開設大学の教務関係窓口で確認をしてください。
  - ・初日は早めに行くようにしてください。
3. 履修及び試験や休講基準等については、科目開設大学の規定(程)に基づきます。
  - ・必要な規則の説明書を科目開設大学より受け取り、よく読んでおいてください。

| 曜日                 | 開講時期         | 科目名         | 単位数                   | 担当大学      | 担当教員  | 時間 | 掲載頁                 |            |    |
|--------------------|--------------|-------------|-----------------------|-----------|---|----|---------------------|------------|----|
| 3月末に配布する資料をご覧ください。 | 前期           | ユニバーサルデザイン  | 2                     | 神戸芸術工科大学  | 相良 二郎 教授  | 3月 | 28                  |            |    |
|                    |              | アニメーション原論   | 2                     |           | 原口 正宏 講師  |    | 29                  |            |    |
|                    |              | アート・クラフト概論  | 2                     |           | 戸矢崎 満雄 教授<br>笹谷 晃生 教授<br>友定 聖雄 教授<br>谷口 文保 准教授<br>さくま はな 助教<br>中山 玲佳 助教 |    | 30                  |            |    |
|                    | 後期           | 芸術理論        | 2                     |           | 津田 徹 准教授  |    | 31                  |            |    |
|                    |              | 日本建築の歴史     | 2                     |           | 山之内 誠 教授  |    | 32                  |            |    |
|                    |              | 近代建築の歴史     | 2                     |           | 三上 晴久 教授  |    | 33                  |            |    |
|                    |              | イラストレーション論  | 2                     |           | 寺門 孝之 教授<br>廣中 薫 准教授<br>久本 直子 准教授                                       |    | 34                  |            |    |
|                    |              | 写真史・映画史     | 2                     |           | 橋本 英治 教授  |    | 35                  |            |    |
|                    | 前期           | 英語学概論 2     | 2                     |           | 神戸市外国語大学  |    | 山口 治彦 教授<br>本多 啓 教授 | 36         |    |
|                    |              | 英米文学・文化研究入門 | 2                     |           |   |    | 英米学科教員(リレー講座)       | 37         |    |
|                    |              | 国際政治史 1     | 2                     |           |   |    | 五月女 律子 准教授          | 38         |    |
|                    |              | スポーツ文化論 1   | 2                     |           |   |    | 竹谷 和之 教授            | 39         |    |
|                    | 後期           | 言語学入門       | 2                     |           |   |    | 林 範彦 准教授            | 40         |    |
|                    |              | 国際政治史 2     | 2                     |           |   |    | 五月女 律子 准教授          | 41         |    |
|                    |              | スポーツ文化論 2   | 2                     |           |   |    | 竹谷 和之 教授            | 42         |    |
|                    | 前期           | NPO 会計論     | 4                     |           |   |    | 兵庫県立大学              | 兵頭 和花子 准教授 | 43 |
|                    |              | 環境芸術論       | 2                     |           |   |    |                     | 竹田 直樹 准教授  | 44 |
|                    |              | スポーツ経済論 a   | 2                     |           |   |    |                     | 伊藤 克広 准教授  | 45 |
|                    | 後期           | 商業経営論       | 4                     |           | 池田 敦 教授   |    |                     | 46         |    |
|                    | 前期           | レーザー工学      | 2                     |           | 神戸市立工業高等専門学校  |    | 熊野 智之 准教授           | 47         |    |
| 電気化学               |              | 2           | 安田 佳祐 准教授             | 48        |   |    |                     |            |    |
| 都市防災学              |              | 2           | 鳥居 宣之 教授<br>宇野 宏司 准教授 | 49        |   |    |                     |            |    |
| 後期                 | アルゴリズムとデータ構造 | 2           | 若林 茂 教授               | 50        |   |    |                     |            |    |
| 前期                 | 神戸学          | 2           | 神戸市看護大学               | 藤代 節 教授   | 51  |    |                     |            |    |
|                    | 生化学          | 1           |                       | 丹野 恵一 准教授 | 52  |    |                     |            |    |
| 後期                 | 障害学          | 1           |                       | 樫田 美雄 准教授 | 53  |    |                     |            |    |
|                    | 生活と環境        | 1           |                       | 丹野 恵一 准教授 | 54  |    |                     |            |    |

2018年1月末現在

|         |                  |             |                   |
|---------|------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸芸術工科大学         | 担 当 教 員 氏 名 | 相良 二郎 教授          |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/10 ~ 7/31) | 開 講 曜 日・時 間 | 火曜日 10:40 ~ 12:10 |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上           | 募 集 人 員     | 10 名程度            |

|         |  |                                |
|---------|--|--------------------------------|
| 科 目 内 容 | 社会の高齢化が急速に進む中、誰もが参加できる社会の構築が求められている。年齢や性別、能力の多寡、人種や文化の違いに関わらず、誰もが利用できるように最初からデザインするというユニバーサルデザイン (UD) の考え方は、多くの企業が取り組んでおり、まちづくりや社会づくりなどのコトのデザインにおいてもその考え方が当たり前のことになりつつある。障害に起因する生活上の問題の多くは、製品・空間・情報のデザインに原因があり、デザインで解決できる。このような取り組みは、従来は特別な人に対する特別なデザインとして取り組まれてきたが、普通のこととして取り組むことの重要性和、その方法論を多様な分野の多様な事例やビデオを通して学ぶ。 |                                |
|         | 各回内容   |                                |
|         | 1  | オリエンテーションとしての UD の理念           |
|         | 2  | 米国の障害者施策と差別禁止法                 |
|         | 3  | 欧州の障害者施策と D4A、Inclusive Design |
|         | 4  | UD の普及・教育活動                    |
|         | 5  | 関連法規                           |
|         | 6  | ユーザ特性の理解                       |
|         | 7  | 超高齢社会の問題と UD                   |
|         | 8  | 建築・まちづくりの中での UD                |
|         | 9  | 公共交通の UD                       |
|         | 10   | 情報・コミュニケーションと UD               |
|         | 11   | 住宅の UD                         |
|         | 12   | 住宅設備機器の UD                     |
|         | 13   | 家庭電化製品・公共設備の UD                |
|         | 14   | 地球環境保全と防災・減災                   |
| 15      | 平和と国際貢献  |                                |

評 価 方 法：試験にて評価する。出席が 2/3 に満たない場合は受験資格を失う。

教 科 書：適宜プリントを配布する。

参 考 図 書：「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」IAUD UD 検定中級公式テキスト

履 修 に あ た っ て：Panasonic、TOTO、コクヨ、富士通、積水ハウスなどの UD 取り組み状況を調べておく。通学途上や日常生活の中で多様なユーザの存在について気を配り、観察すること。  
定期試験は、定期試験期間 (8 月 4,8,9,10 日のいずれか) に実施する。



# アニメーション原論

Principle of Animation

2 単位

|         |                  |             |                   |
|---------|------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸芸術工科大学         | 担 当 教 員 氏 名 | 原口 正宏 講師          |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/10 ~ 7/31) | 開 講 曜 日・時 間 | 火曜日 13:00 ~ 16:10 |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上           | 募 集 人 員     | 10 名程度            |

|         |   |                                  |  |
|---------|---|----------------------------------|--|
| 科 目 内 容 | 百聞は一見にしかず——それがこの講座のスローガンです。古今東西のアニメーション映画の代表作を、長編を中心になるべく数多く上映していきます。100 年強にわたるアニメーション史をひも解き、決して古びない普遍的な作品を厳選して紹介していきます。まずは観ること。次に、作品が作られた歴史的背景を知ること。作者の“思い”を想像すること。技術的な試みと試行錯誤の過程を理解すること。“観る”ことは“出会う”ことです。学生の一人一人が違う個性と資質を持っているように、作品にもすべて個性がある。その出会いは皆さんに、一人一人別の感動と創作のインスピレーションを与えてくれるでしょう。 |                                  |  |
|         | 各回内容  |                                  |  |
|         | 1   | 日本のアニメーション制作会社の流れ                |  |
|         | 2   | 東映動画長編 その1 藪下 泰司と『白蛇伝』           |  |
|         | 3   | 東映動画長編 その2 森 康二、大塚 康生と『西遊記』      |  |
|         | 4   | 東映動画長編 その3 芹川 有吾と『わんぱく王子の大蛇退治』   |  |
|         | 5   | 東映動画長編 その4 高畑 勲と『太陽の王子ホルスの大冒険』   |  |
|         | 6   | 東映動画長編 その5 宮崎 駿と『長靴をはいた猫』        |  |
|         | 7   | 東映動画長編 その6 池田 宏と『どうぶつ宝島』         |  |
|         | 8   | 東映動画長編 その7 土田 勇と『龍の子太郎』          |  |
|         | 9   | 虫プロ系監督 その1 出崎 統と『エースをねらえ!』       |  |
|         | 10  | 虫プロ系監督 その2 りんたろうと『銀河鉄道 999』      |  |
|         | 11  | 虫プロ系監督 その3 杉井 ギサブローと『銀河鉄道の夜』     |  |
|         | 12  | 虫プロ系監督 その4 山本 暎一と『哀しみのベラドンナ』     |  |
|         | 13  | 虫プロ系監督 その5 手塚 治虫と『ある街角の物語』『森の伝説』 |  |
|         | 14  | 竜の子系監督 その1 鳥海 永行と『科学忍者隊ガッチャマン』   |  |
| 15      | 竜の子系監督 その2 南家 こうじが手がけたミュージックアニメーション   |                                  |  |

評 価 方 法：採り上げた作家と作品について観賞レポート（感想文）を提出してもらう。

講義内容を理解し、作家の特性や歴史的背景について概観できているどうかを判断し、評価の対象とする。2 週以上遅れた課題提出は認めない。

教 科 書：特定のテキストは使用しない。毎回、講義内容に応じた資料をコピーして配布する。

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て：出席率 80% 未満、およびレポート提出率 100% 未満は不可評価。遅刻は欠席あつかいとする。夏期休暇中、特別講義枠『アニメーション 100 年史概観』を行う予定です。興味のある学生は参加してみてください。

映像や芸術を専門に学んでいる学生はもちろん、専門外の学生にもわかりやすく、興味の持てる内容を目指している。大学や学部の垣根を越え、アニメーションの歴史を学びたいすべての学生の参加を歓迎する。



# アート・クラフト概論

Introduction to Arts & Crafts

2 単位

|         |                 |              |   |
|---------|-----------------|--------------|---|
| 大 学 名   | 神戸芸術工科大学        | 担 当 教 員 氏 名  | 戸矢崎 満雄 教授<br>笹谷 晃生 教授<br>友定 聖雄 教授<br>谷口 文保 准教授<br>さくま はな 助教<br>中山 玲佳 助教 |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/13 ~ 8/3) | 開 講 曜 日・ 時 間 | 金曜日 9:00 ~ 10:30  |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上          | 募 集 人 員      | 10 名程度  |

|         |  |                    |
|---------|--|--------------------|
| 科 目 内 容 | 「アート・クラフト概論」では、美術とはなにか？クラフトとは何か？という問いかけに対し、各領域の歴史や理論を背景に造形、表現、伝統、地域、交流などの基本的な要素について学習する。また、各教員の研究分野について説明する。 |                    |
|         | 各回内容   |                    |
|         | 1  | イントロダクション 花の絵      |
|         | 2  | 素材と技法 1 アートと社会     |
|         | 3  | 素材と技法 2 ガラスのひかり    |
|         | 4  | 素材と技法 3 陶芸のこころ     |
|         | 5  | 素材と技法 4 絵画で描くもの    |
|         | 6  | 素材と技法 5 アートとコレクション |
|         | 7  | 素材と技法 6 アートプロジェクト  |
|         | 8  | 素材と技法 7 メタルワークス    |
|         | 9  | 素材と技法 8 彫刻のひろがり    |
|         | 10   | 造形と表現 1 なぜ絵を描くのか？  |
|         | 11   | 造形と表現 2 ものづくりとは？   |
|         | 12   | 造形と表現 3 社会とつながるには？ |
|         | 13   | 造形と表現 4 フィギュアの行方？  |
|         | 14   | 素材と表現 5 ジュエリーのかたち？ |
| 15      | 造形と表現 6 今日の工芸とは？   |                    |

評 価 方 法：4つの「ミニ・レポート」による授業理解度と授業態度を総合評価する。

教 科 書：授業ごとにプリントを配布する。

参 考 図 書：適時指示する。

履 修 に あ た っ て：毎回の授業の内容を参考に、興味を持った点や疑問点を自ら調べること。

|         |                  |               |                   |
|---------|------------------|---------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸芸術工科大学         | 担 当 教 員 氏 名   | 津田 徹 准教授          |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/24 ~ 1/28) | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 月曜日 16:20 ~ 17:50 |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上           | 募 集 人 員       | 10 名程度            |

|         |   |                       |  |
|---------|---|-----------------------|--|
| 科 目 内 容 | 我々人間は、古代から現代まで、芸術の本質と意味について思いを巡らせてきた。古典的要素が、中世、ルネサンス、バロック、新古典主義から現代の芸術作品において再登場するが、絵画、彫刻、映画などの鑑賞を通して、それらの影響力がどのようなものであったのかを具体的作品を介しながら理解できるよう展開する予定である。 |                       |  |
|         | 各回内容  |                       |  |
|         | 1   | 導入                    |  |
|         | 2   | 先史時代と古代               |  |
|         | 3   | 中世                    |  |
|         | 4   | ルネサンス                 |  |
|         | 5   | マニエリスムとバロック           |  |
|         | 6   | 18 世紀                 |  |
|         | 7   | 古典主義とロマン主義            |  |
|         | 8   | 労働としての芸術リアリズムの芸術論     |  |
|         | 9   | 形式と象徴                 |  |
|         | 10  | 抽象の始まり                |  |
|         | 11  | 近代の芸術論 1 フィーodor、ハリソン |  |
|         | 12  | 近代の芸術論 2 パノフスキー、ニーチェ  |  |
|         | 13  | 現代の傾向 1 絵画にみる古典       |  |
| 14      | 現代の傾向 2 映画に見る古典   |                       |  |
| 15      | まとめ   |                       |  |

評 価 方 法：複数の課題による総合評価とする。課題を提出しない場合は E 評価となる。

教 科 書：適宜、プリントを配布する。

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て：第 1 回目に授業上の注意点を説明するので、必ず出席のこと。

映画 (DVD) を何本か視聴します。また視覚資料を積極的に活用したいと考えています。古典的な要素がいかに現代にまで影響を及ぼしているかを理解していただければ幸いです。

# 日本建築の歴史

History of Japanese Architecture

2 単位

|         |                  |             |                   |
|---------|------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸芸術工科大学         | 担 当 教 員 氏 名 | 山之内 誠 教授          |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/25 ~ 1/29) | 開 講 曜 日・時 間 | 火曜日 10:40 ~ 12:10 |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上           | 募 集 人 員     | 10 名程度            |

|         |  |  |  |
|---------|--|--|--|
| 科 目 内 容 | この授業では、古代から近代にわたる日本の歴史的な建築（寺社建築、住宅、城郭、近代建築等）を中心に、インテリアから都市計画まで広範な領域を対象として、基礎的な特徴や、成り立ち及び変遷について、解説する。 |  |  |
|         | 各回内容   |  |  |
|         | 1  | 日本建築の基本構成とその名称                         |  |
|         | 2  | 飛鳥・奈良時代の建築                             |  |
|         | 3  | 古代の都城計画と宮殿建築                           |  |
|         | 4  | 建築構造・意匠の日本的発展過程                        |  |
|         | 5  | 神社の成立とその形式                             |  |
|         | 6  | 密教建築と浄土教建築                             |  |
|         | 7  | 大仏様と禅宗様—新様式の輸入と展開                      |  |
|         | 8  | 寝殿造の成立—上層住宅の変遷 1                       |  |
|         | 9  | 寝殿造から書院造へ—上層住宅の変遷 2                    |  |
|         | 10   | 近世城下町と武家住宅                             |  |
|         | 11   | 近世寺社建築の展開                              |  |
|         | 12   | 草庵風建築の誕生と展開                            |  |
|         | 13   | 洋風建築の出現と日本人建築家の誕生—西洋建築文化の移入と近代日本の建築界 1 |  |
|         | 14   | 様式への習熟と近代建築運動—西洋建築文化の移入と近代日本の建築界 2     |  |
| 15      | レポート講評及び理解度確認テスト   |  |  |

評 価 方 法：学期中に課すレポート（20 点満点）と理解度確認テスト（80 点満点）の合計得点で評価する。

教 科 書：毎回の授業で配布するオリジナルのプリントを用いる。  
『日本建築史図集』彰国社（配布プリントを補完するものとして使用）

参 考 図 書：『日本建築史』（建築学の基礎 6）共立出版  
『カラー版建築と都市の歴史』井上書院  
『コンパクト版建築史【日本・西洋】』彰国社  
『カラー版図説建築の歴史』学芸出版社

履 修 に あ た っ て：建築を学んだ経験が無くても履修可能です。古建築に関心のある人を歓迎します。

# 近代建築の歴史

History of Modern Architecture

2 単位

|         |                  |               |                   |
|---------|------------------|---------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸芸術工科大学         | 担 当 教 員 氏 名   | 三上 晴久 教授          |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/25 ~ 1/29) | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 火曜日 10:40 ~ 12:10 |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上           | 募 集 人 員       | 10 名程度            |

|         |  |  |                      |
|---------|--|--|----------------------|
| 科 目 内 容 | 近代建築の巨匠の作品を個別に詳しく見ることによって、近代建築に対して造詣を深める。次いで、19世紀から20世紀の建築史を理解し、その延長にある現代建築の動静に歴史的な視点から注目し、説明できるようになる。 |  |                      |
|         | 各回内容   |  |                      |
|         | 1  | 近代建築   | 黎明期と近代建築の巨匠          |
|         | 2  | 巨匠 その1: ル・コルビュジェ                               | 初期の住宅と近代建築の5原則       |
|         | 3  | 巨匠 その1: ル・コルビュジェ                               | サヴォア邸—ロンシャンの教会、都市と建築 |
|         | 4  | 巨匠 その2: ミース・ファン・デル・ローエ                         | 初期の作品からバルセロナ・パヴィリオン  |
|         | 5  | 巨匠 その2: ミース・ファン・デル・ローエ                         | 建築作品の変遷と建築における普遍性    |
|         | 6  | 巨匠 その3: フランク・ロイド・ライト                           | シカゴとオーク・パークにおける作品群   |
|         | 7  | 巨匠 その3: フランク・ロイド・ライト                           | プレーリー・ハウスとタリアセン      |
|         | 8  | 巨匠 その4: アルヴァ・アアルト (フィンランド)、巨匠 その5: ルイス・カーン (米) |                      |
|         | 9  | 巨匠 その6: エーロ・サーリネン (米)                          |                      |
|         | 10   | 西洋建築史における19世紀と万国博覧会                            |                      |
|         | 11   | アーツ・アンド・クラフツ運動から20世紀初頭 20世紀初頭から第1次世界大戦後        |                      |
|         | 12   | 第1次世界大戦後から第2次世界大戦                              |                      |
|         | 13   | 第2次世界大戦から大戦後へ                                  |                      |
| 14      | 第2次世界大戦後の、西洋と日本の近代建築   |  |                      |
| 15      | ディコンストラクティヴィスト・アーキテクチュアと現代   |  |                      |

評 価 方 法：毎回の講義時のレポート、中間レポート、学期末レポートによる。評価の割合はそれぞれ3分の1。  
※全講義回数の半分以上の出席が認められない場合は、E評価とする。

教 科 書：オリジナルテキスト

参 考 図 書：『プレジジョン』（ル・コルビュジェ著、井田 安弘・芝 優子訳、鹿島出版会）  
『建築をめざして』（ル・コルビュジェ著、吉阪 隆正訳、鹿島 出版会）  
『インターナショナル・スタイル』（H・R・ヒッチコック著、武澤 秀一訳、鹿島 出版会）  
『建築の多様性と対立性』（R・ヴェンチャーリ著、伊藤 公文訳、鹿島出版会）

履 修 に あ た っ て：現代におけるデザインを考えようとするとき、近代に目を向けることは必要不可欠です。  
建築に注目して近代を見るのですが、バウハウスの理念が示すように、近代における建築は、総合芸術と位置付けられるものです。

# イラストレーション論

Theoretical Studies of Illustration and Drawing

2 単位

|         |                  |             |                                   |
|---------|------------------|-------------|-----------------------------------|
| 大 学 名   | 神戸芸術工科大学         | 担 当 教 員 氏 名 | 寺門 孝之 教授<br>廣中 薫 准教授<br>久本 直子 准教授 |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/20 ~ 1/31) | 開 講 曜 日・時 間 | 木曜日 10:40 ~ 12:10                 |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上           | 募 集 人 員     | 10 名程度                            |

|         |  |                                 |
|---------|--|---------------------------------|
| 科 目 内 容 | 現在の日本におけるイラストレーションの諸傾向について、その多様性を紹介しつつ、歴史的な基盤を探っていく。毎回テーマを定めて具体例を画像、映像あるいは現物資料により確認しながら進めていく。また、絵本についても主としてイラストレーションの視点から概観する。さらには、職業としてのイラストレーターについて現状を知るとともに、その可能性を探る。イラストレーションは身の回りにあまた存在するため、常日頃から意識し、その描き手について調べる習慣を奨励する。 |                                 |
|         | 各回内容   |                                 |
|         | 1  | イラストレーション概論 (寺門)                |
|         | 2  | 物語とイラストレーション / 不思議の国のアリス (寺門)   |
|         | 3  | 不可視の可視化① / 妖精 (寺門)              |
|         | 4  | 不可視の可視化② / 妖怪 (寺門)              |
|         | 5  | 日本のイラストレーションの基盤 / 浮世絵 (寺門)      |
|         | 6  | 眼の表現の多様性と時代的変遷 (寺門)             |
|         | 7  | イラストレーションと自由 / グラフィティ (廣中)      |
|         | 8  | アートとイラストレーション (廣中)              |
|         | 9  | イラストレーションとマーケット (廣中)            |
|         | 10   | 不可視の可視化③ / 龍 (寺門)               |
|         | 11   | デザイン文化—表現と技術— (久本)              |
|         | 12   | かたちと色の作用① / 色彩の基本・色彩心理学と風水 (久本) |
|         | 13   | かたちと色の作用② / 図像・模様・幾何学 (久本)      |
|         | 14   | 絵の効用 / 鯨絵 (寺門)                  |
| 15      | 神戸とイラストレーション (寺門)  |                                 |

評 価 方 法：授業時に課す小レポート、適宜に課す課題レポートを総合的に評価する。毎回課するレポート、及びイラストレーションの収集物の提出を総合的に評価する。

教 科 書：適宜紹介する。

参 考 図 書：適宜紹介する。

履 修 に あ た っ て：イラストレーションは日常のあらゆる局面で目にするものである。日頃から関心を持ち、その収集・調査を怠らないでいることを推奨する。

# 写真史・映画史

History of Photography and Film

2 単位

|         |                 |             |                  |
|---------|-----------------|-------------|------------------|
| 大 学 名   | 神戸芸術工科大学        | 担 当 教 員 氏 名 | 橋本 英治 教授         |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/21 ~ 2/1) | 開 講 曜 日・時 間 | 金曜日 9:00 ~ 10:30 |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上          | 募 集 人 員     | 10 名程度           |

|         |   |                               |
|---------|---|-------------------------------|
| 科 目 内 容 | <p>本講義では、写真、映画を意識的に「見る」ことによって、映像の中に透明化された「見る制度」を明らかにしていきます。大まかに次の5つの点から考えていきます。</p> <p>①自分の顔（自分の顔は自分で見えない）、②鏡という装置（視覚の拡張機械）、③写真による複製技術時代（私が無限にいる）、④映画の登場前夜（動くことへの感動）、⑤映画の誕生とその発展（たとえ嘘でも面白い）</p> |                               |
|         | 各回内容  |                               |
|         | 1   | 現実と虚構の関係、顔がもたらす問題、インターフェース    |
|         | 2   | 世界を写す鏡の存在                     |
|         | 3   | 視線と視線、世界は見えるのではなく、見るものである     |
|         | 4   | 視線の権力、見る側と見られる側               |
|         | 5   | 写真の誕生、ダゲレオタイプとカロタイプ           |
|         | 6   | 肖像写真、そのスタイルの誕生と凝固             |
|         | 7   | 科学の視線、計測される身体とそのイメージ          |
|         | 8   | 静止と運動、マイブリッジについて              |
|         | 9   | 静止と運動、マレーについて                 |
|         | 10  | 映画の誕生、リュミエールとメリエス、現実と虚構のはざままで |
|         | 11  | 物語ることの発見、カドラージュ、デクパージュ、モンタージュ |
|         | 12  | カメラが動くこと、その逆説としての動かないこと       |
|         | 13  | 映画と音、映画が言葉を喋るそして、唄う           |
| 14      | 白黒と総天然色、リアルな世界には色がある  |                               |
| 15      | まとめ   |                               |

評 価 方 法：定期試験（問題 12 問中（多少の変更あり）から、4 問から 5 問選択し回答）によって、その理解度、問題意識を問います。  
100 点を満点とします。

教 科 書：講義内で適宜印刷物（レジュメ）を配布します。

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て：授業で提案された数々の問題点を自分なりに考えて答えを出すことに心がけてください。  
また、授業で示した絵画、写真、映画等を図書館で鑑賞してください。  
定期試験は、定期試験期間（2 月 4 ~ 7 日のいずれか）に実施する。

# 英語学概論 2

Introduction to Studies in English 2

2 単位

|         |                  |             |                     |
|---------|------------------|-------------|---------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学         | 担 当 教 員 氏 名 | 山口 治彦 教授<br>本多 啓 教授 |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/10 ~ 7/31) | 開 講 曜 日・時 間 | 火曜日 14:25 ~ 15:55   |
| 対 象 学 年 | 全学年              | 募 集 人 員     | 10 名程度              |

|         |   |  |
|---------|---|--|
| 科 目 内 容 | 英語学概論とは、英語を研究する学問としての英語学の各分野を大まかに見通すことで、「英語とはどのような言語か」「英語学とはどういう学問か」ということについての全体像を作ること为目标とした、入門的な授業です。2018 年度開講の「英語学概論 2」は、英語学の諸分野のうち、言葉の意味という観点から英語の特徴を考える意味論、実際のコミュニケーションの現場における言葉の働きという観点から英語の特徴を明らかにする語用論を中心とした内容になります。 |  |
|         | This is an introductory course on English linguistics. This year we will talk about semantics (the study of linguistic meaning) and pragmatics (the study of language use in communicative contexts).                       |  |
|         | 各回内容  |  |
|         | 1   | 授業案内。英語学についての全体的な解説                            |
|         | 2   | 意味論 (1) 意味とは何 (でない) か — 認知意味論の立場から —           |
|         | 3   | 意味論 (2) 多義                                     |
|         | 4   | 意味論 (3) 日常言語の中の比喩                              |
|         | 5   | 意味論 (4) 英語の法助動詞                                |
|         | 6   | 意味論 (5) メタファーなどから考える英語の句動詞などの多義性               |
|         | 7   | 意味論 (6) 認知意味論は何を目指す学問か                         |
|         | 8   | 中間試験と解説  |
|         | 9   | 語用論 (1): ことばとコンテキストの親密な関係                      |
|         | 10  | 語用論 (2): 推論を生む指針 (協調原則と会話の格率)                  |
|         | 11  | 語用論 (3): ふまじめなことば (ジョークと会話の格率)                 |
|         | 12  | 談話分析 (1): 翻訳が映す社会の姿 [1] (英語になった manga と anime) |
|         | 13  | 談話分析 (2): 翻訳が映す社会の姿 [2] (manga におけるオノマトペの翻訳)   |
| 14      | 談話分析 (3): 翻訳が映す社会の姿 [3] (『NARUTO』の性的・暴力的表現)   |  |
| 15      | まとめ: 言語学の地図とコンパス  |  |
| 16      | 期末試験  |  |

評 価 方 法 : 毎回の授業への取り組みと、各担当教員の課す課題 (中間・期末試験またはレポート) によります。

教 科 書 : 資料を配布しますので、教科書は使用しません。

参 考 図 書 : (意味論) 『ファンダメンタル認知言語学』(野村 益寛 (著)、ひつじ書房、2014) 『英単語の世界 --- 多義語と意味変化から見る』(寺澤 盾 (著)、中央公論新社、2016、中公新書) ほか。これ以外の本は授業中に紹介します。

履 修 に あ た っ て : 英語という言語を論理的・客観的に見たいという知的好奇心と大学生にふさわしい英語力があれば受講できます。

途中で休むと次回以降の授業を理解することが難しくなる場合がありますので、できるだけ欠席することなく毎回出席してください。

# 英米文学・文化研究入門

Introduction to Anglo/American Literature and Culture 2単位

|         |                              |             |                   |
|---------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学                     | 担 当 教 員 氏 名 | 難波江 仁美 教授 (リレー)   |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/10 ~ 7/31)             | 開 講 曜 日・時 間 | 火曜日 16:05 ~ 17:35 |
| 対 象 学 年 | 履修年は特に定めないが、「履修に当たって」を参照のこと。 | 募 集 人 員     | 募集人数は特に定めない       |

|         |   |   |  |
|---------|---|---|--|
| 科 目 内 容 | 神戸市外国語大学英米学科文学文化系教員によるリレー講座です。同じテーマで毎回専門の異なる教員がそれぞれの専門分野の視点から講じます。今年のテーマは「ミステリー」--英国・米国の文学、文化、歴史を読み解いていきます。 |   |  |
|         | 各回内容  |   |  |
|         | 1   | イントロダクション Mysterious Japan: Lafcadio Hearn's "A Living God" (難波江 仁美)      |  |
|         | 2   | Science or Mystery? Ambrose Bierce's "The Damned Thing" (難波江 仁美)          |  |
|         | 3   | 「神秘」として語られる恋愛、恋愛の語彙で語られる「神秘」(西川 健成)                                       |  |
|         | 4   | Whodunit? Mystery and Crime Fiction Before WW2 (衣川将介)                     |  |
|         | 5   | Whodunit? Mystery and Crime on American TV Shows (Matt Theado)            |  |
|         | 6   | ワーズワスと自然の神秘——ルーシー詩篇を中心に (吉川 朗子)   |  |
|         | 7   | 第1回 レポート提出期限  |  |
|         | 8   | Charles Dickens, The Mystery of Edwin Drood —未完小説の謎を解く (新野 緑)             |  |
|         | 9   | Alice in Wonderland と言葉の謎 (新野 緑)  |  |
|         | 10  | Mining the Murder Mystery: Representations of the Oglala Incident (松永 京子) |  |
|         | 11  | A Time Mystery in an episode from Calvin and Hobbes. (Henry Atmore)       |  |
|         | 12  | ナショナリズムという謎-イギリス実証主義者の「愛国主義」論— (光永 雅明)                                    |  |
|         | 13  | The Mystery at the Heart of a Poem (David Farrah)                         |  |
|         | 14  | 第2回 レポート提出期限  |  |
| 15      |   |   |  |
| 16      |   |   |  |

評 価 方 法 : \*前半・後半でレポート提出。それぞれの提出期限厳守ください。

\*内容については各教員から説明があります。

教 科 書 : 各講師がプリントを配布する。

参 考 図 書 : 特に指定せず、各講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て : 入門講義なので、特に1・2年生に履修してもらいたい。さまざまな講義と聴き比べることがリレー講義の狙いなので、毎回出席を心がけること。なお、都合により講師や講義の順番が変更される場合もある。



# 国際政治史 1

History of International Politics 1

2 単位

|         |                 |              |                   |
|---------|-----------------|--------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学        | 担 当 教 員 氏 名  | 五月女 律子 准教授        |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/12 ~ 8/2) | 開 講 曜 日・ 時 間 | 木曜日 12:45 ~ 14:15 |
| 対 象 学 年 | 全学年             | 募 集 人 員      | 教室収容可能人数          |

|         |  |                                    |
|---------|--|------------------------------------|
| 科 目 内 容 | 17世紀から現代までの国際政治史を学ぶことにより、国際政治における過去と現在の繋がりを理解し、現代に表出している問題の解決の糸口を探ることを目指す。また、歴史は見る視点によって評価や解釈が異なることを学び、相違を乗り越える試みについても触れたい。それらを通じて、学生自らが情報を整理して考えをまとめ、理由を示しながら自分の意見や主張を述べる力を身につけることも目指したい。 |                                    |
|         | 各回内容   |                                    |
|         | 1  | ガイダンス、国際社会の成立                      |
|         | 2  | 絶対王政期                              |
|         | 3  | 国民国家形成期                            |
|         | 4  | 帝国主義の時代                            |
|         | 5  | 第一次世界大戦 (1) 【バルカン半島】【三国同盟】【三国協商】   |
|         | 6  | 第一次世界大戦 (2) 【民族解放運動】【ロシア革命】【労働者運動】 |
|         | 7  | ヴェルサイユ体制と新しい国際対立                   |
|         | 8  | 第二次世界大戦 (1) 【世界恐慌】【ファシズム】【対独宥和政策】  |
|         | 9  | 第二次世界大戦 (2) 【三国同盟】【資本主義】【共産主義】     |
|         | 10   | 第二次世界大戦 (3) 【ホロコースト】【敗戦国】          |
|         | 11   | 冷戦期 (1) 【東西対立】【ベルリンの壁】             |
|         | 12   | 冷戦期 (2) 【ヨーロッパ統合】                  |
|         | 13   | ポスト冷戦                              |
|         | 14   | 歴史と現在                              |
| 15      | 期末試験   |                                    |
| 16      | 総括   |                                    |

評 価 方 法：授業時の小テスト（40%）と期末筆記試験（60%）によって評価する予定。

教 科 書：岡 義武『国際政治史』岩波現代文庫、2009年。ISBN: 9784006002299

参 考 図 書：授業時に指示する

履 修 に あ た っ て：・授業時間中の撮影・録画・録音は禁止。

配布プリントは個人の学習のみに使用し、SNS やインターネット上に掲載しないこと。

- ・授業中の私語厳禁。授業開始後の教室への入退室は原則禁止。
- ・授業中に寝る学生は授業に出る必要は無い。
- ・授業に出席せず、勉強せずに単位を取得することはできない。
- ・指定テキストを授業前に読んでいる学生を対象として講義を進める点に留意すること。
- ・「単位を取得すること」ではなく「授業内容を学ぶこと」を重視する学生の受講を歓迎する。
- ・大学が公式に認めた理由以外での追試は行わない。

# スポーツ文化論 1

Sport Culture 1

2 単位

|         |                 |               |                   |
|---------|-----------------|---------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学        | 担 当 教 員 氏 名   | 竹谷 和之 教授          |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/13 ~ 8/3) | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 金曜日 12:45 ~ 14:15 |
| 対 象 学 年 | 全学年             | 募 集 人 員       | 20 名              |

|         |   |                                   |  |
|---------|---|-----------------------------------|--|
| 科 目 内 容 | <p>フェア・プレイ、スポーツマンシップなどを前提とする「近代スポーツ」が、西洋のイデオロギーや価値観で形成されたものであり、それが日本に導入され流行しているとしたら…。単なる技術・戦術や勝敗だけでスポーツを語るのではなく、「なぜ」という問いをたてながら文化として「sport」を捉え、その多様性を伝統スポーツに求め考える授業です。前期は伝統スポーツ、後期は近代スポーツからアプローチされる。</p> <p>The History and Anthropology of Sport An Introduction</p> <p>各回内容</p> |                                   |  |
|         | 1   | オリエンテーション                         |  |
|         | 2   | 日本の伝統スポーツ — 相撲                    |  |
|         | 3   | 稲作民のスポーツ——綱引き                     |  |
|         | 4   | ” ——— ボートレース                      |  |
|         | 5   | モンゴル遊牧民の「魂の3つの競技」                 |  |
|         | 6   | ”                                 |  |
|         | 7   | アフリカ・コートジボワールのレスリング               |  |
|         | 8   | スペインバスク民族のスポーツ—労働から               |  |
|         | 9   | ” ——— 宗教から                        |  |
|         | 10  | イタリア・シエナの競馬                       |  |
|         | 11  | ワールド・エスキモー & インディアン・オリンピック (WEIO) |  |
|         | 12  | 北アメリカのカヌーと民族                      |  |
|         | 13  | 南米アンデスの闘牛                         |  |
|         | 14  | まとめ 1                             |  |
|         | 15  | まとめ 2                             |  |
| 16      | 試験  |                                   |  |

評 価 方 法 : 1. 出席  
2. 授業後のレスポンスカード内容  
3. 筆記試験

教 科 書 : 授業中に指示

参 考 図 書 : 中村・高橋・寒川・友添編『21世紀スポーツ大事典』大修館書店 2014年  
今福 龍太著『ブラジルのホモ・ルーデンス』月曜社 2008年  
稲垣・今福・西谷著『近代スポーツのミッションは終わったか? 身体・メディア・世界』平凡社 2009年  
竹谷 和之編著『ジャック・マイヨールの遺産』、叢文社、2007年  
竹谷 和之編著『<スポーツする身体>とはなにか-バスクへの問い・PARvT.1.』叢文社 2010年  
寒川 恒夫編『教養としてのスポーツ人類学』大修館書店 2004年  
寒川 恒夫『遊びの歴史民族学』明和出版 2003年  
大林他編『民族遊戯大事典』大修館書店 1998年

履 修 に あ た っ て : 従来の「スポーツ」概念から抜け出る工夫を心掛けること。

# 言語学入門

Introduction to Linguistics

2 単位

|         |                         |               |   |
|---------|-------------------------|---------------|---|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学                | 担 当 教 員 氏 名   | 林 範 彦 准 教 授                                     |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/27 ~ 2/7)         | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 月曜日 16:05 ~ 17:35                               |
| 対 象 学 年 | 全学年<br>(ただし、1年生・2年生に推奨) | 募 集 人 員       | 加盟大学から 50 名程度<br>(ただし、神戸市外国語大学の学生は制限<br>がありません) |

|         |  |   |  |
|---------|--|---|--|
| 科 目 内 容 | <p>普段私たちはことばを使ってコミュニケーションをとります。何気なく使っていることばも時には相手に伝わらなかつたり、いろんな意味があることに気づいたりすることもあるでしょう。また同じ意味だと思ふのに、違う形の語彙に出くわしたりすることもあると思います。語学学習の際、日本語にはない音がたくさんあって驚いたこともあるでしょう。言語学はこのようなことばに関する様々な問題に対して科学的研究を進める学問です。この講義では言語学の基礎をいろいろな角度から楽しみながら学んでいきます。そしてコース修了時には(1)言語研究をもっと進めたい、(2)語学学習がはかどる、(3)他の隣接諸分野とつなげて学習したくなるなどの効果を目指します。</p> <p>This course is designed for students without fundamental knowledge of the study of language.<br/>Keywords are: Sounds, Words, Sentences, Meaning, Language and Society, Language and History, Language and Cultures.</p> |   |  |
|         | 各回内容   |   |  |
|         | 1  | 序章 イントロダクション 言語学の学び方 / Introduction to This Course  |  |
|         | 2  | 序章 人間の言語の特徴 「ピーちゃんとの会話」 / General Features of Human Language  |  |
|         | 3  | 第1章 形態論 1: 形態論の基礎<br>「どう? ちょっとそこらでカフェ?」 / Basics in Morphology (the Study of Word Formation)          |  |
|         | 4  | 第1章 形態論 2: いろいろな語形成と類型論<br>「センター・AKB・まゆゆとばみゆばみゆ」 / Various Types in Word Formation                    |  |
|         | 5  | 第2章 音声学と音韻論 1: 子音と母音<br>「3つの「タ」」 / Phonetics and Phonology 1: Consonants and Vowels                   |  |
|         | 6  | 第2章 音声学と音韻論 2: 音調と音韻論の導入<br>「5つの「マー」」 / Phonetics and Phonology 2: Tones and Basics in Phonology      |  |
|         | 7  | 第2章 音声学と音韻論 3: 音韻分析の手法<br>「ピーターとスパイダーマン」 / Phonetics and Phonology 3: Basics in Phonological Analysis |  |
|         | 8  | 第3章 統語論 1: 統語論の基礎<br>「主人公と脇役」 / Syntax 1: Basics in Syntax (the Study of Sentence Structure)          |  |
|         | 9  | 第3章 統語論 2: 生成文法の基礎 「ことば・脳・生まれつき」 / Syntax 2: Generative Grammar                                       |  |
|         | 10   | 第4章 意味論「ケーキと時間と場所を食う」 / Semantics: Basics in the Study of Meaning                                     |  |
|         | 11   | 第5章 談話文法と語用論<br>「あの一、今日は子供が熱出しまして」 / Discourse Grammar and Pragmatics                                 |  |
|         | 12   | 第6章 言語と社会 「バス、なんぼ待ってもこーへんし」 / Language and Society  |  |
|         | 13   | 第7章 言語の歴史 「けふここのへにほひぬるかな」 / History of Language   |  |
|         | 14   | 第8章 世界の諸言語と言語 / 言語学の未来<br>「ことばの100年後って?」 / World Languages and Their Future                           |  |
| 15      | 進度調整 / Adjustment  |   |  |
| 16      | 15. まとめとテスト / Course Summary and Test  |   |  |

評 価 方 法 : 授業参加度 (10% 以下)、期末試験 (90% 以上)

教 科 書 : 教科書は使用しません。ハンドアウトを配布します。また参考図書や資料などは授業中随時紹介します。

参 考 図 書 : 適宜授業中に紹介しますが、以下の本は手元に置いておくと、学習に役立つと思われます。

風間 喜代三ほか (編) 2004. 『言語学 第2版』 東京: 東京大学出版会

斎藤 純男・田口 善久・西村 義樹 (編) 2015. 『明解言語学辞典』 東京: 三省堂

履 修 に あ た っ て : 履修希望者はできる限り初回授業時に出席してください。どの授業でもそうだと思いますが、積み重ねが大事ですので、できるだけ授業を休まないでください。休むとその後の回の授業理解度は極端に落ちます。

他の人の迷惑になりますので、私語は謹んでください。

あと、携帯電話やスマートフォンなどの電子機器は授業中必要ないので、鞆の中に入れておいてください。黒板やスクリーンなどの写真をとる行為も認めません。録音・録画などの行為も認めません。ライブをお楽しみ下さい!

# 国際政治史 2

History of International Politics 2

2 単位

|         |                 |             |                   |
|---------|-----------------|-------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学        | 担 当 教 員 氏 名 | 五月女 律子 准教授        |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/27 ~ 2/7) | 開 講 曜 日・時 間 | 木曜日 12:45 ~ 14:15 |
| 対 象 学 年 | 全学年             | 募 集 人 員     | 教室収容可能人数          |

|         |  |                                  |  |
|---------|--|----------------------------------|--|
| 科 目 内 容 | 本講義では、複雑で多岐にわたる現象が起こってきた国際政治の歴史を理解することを目的とする。国際政治史 1 で学んだ基礎を踏まえて、国際政治の基本的特徴を国や地域における国際政治史の特徴から読み解くことを目指す。それらを通じて、学生自らが情報を整理して考えをまとめ、理由を示しながら自分の意見や主張を述べる力を身につけることも目指したい。 |                                  |  |
|         | 各回内容   |                                  |  |
|         | 1  | ガイダンス、国・地域から見た国際政治史              |  |
|         | 2  | アメリカと国際関係 (1) 【ナショナリズム】 【単独行動主義】 |  |
|         | 3  | アメリカと国際関係 (2) 【戦争】 【国際的活動】       |  |
|         | 4  | ヨーロッパと国際関係 (1) 【ヨーロッパ統合】         |  |
|         | 5  | ヨーロッパと国際関係 (2) 【地域的国際機構】         |  |
|         | 6  | ヨーロッパと国際関係 (3) 【対外政策】            |  |
|         | 7  | 日本と国際関係 (1) 【経済大国】 【国際貢献】        |  |
|         | 8  | 日本と国際関係 (2) 【日米同盟】 【アジア】         |  |
|         | 9  | アジアと国際関係 (1) 【中国】 【分断国家】         |  |
|         | 10   | アジアと国際関係 (2) 【朝鮮半島】 【地域主義】       |  |
|         | 11   | 中東と国際関係 (1) 【国家形成】 【支配の正統性】      |  |
|         | 12   | 中東と国際関係 (2) 【領域国家】 【民主化】         |  |
|         | 13   | ロシアと国際関係                         |  |
|         | 14   | アフリカと国際関係                        |  |
| 15      | 期末試験   |                                  |  |
| 16      | 総括   |                                  |  |

評 価 方 法：授業時の小テスト (40%) と期末筆記試験 (60%) によって評価する予定。

教 科 書：坂井 一成編『グローバリゼーション国際関係論』(新版) 芦書房、2014 年。  
ISBN: 9784755612664

参 考 図 書：授業時に指示する。

履 修 に あ た っ て：・ 授業時間中の撮影・録画・録音は禁止。

配布プリントは個人の学習のみに使用し、SNS やインターネット上に掲載しないこと。

- ・ 授業中の私語厳禁。授業開始後の教室への入退室は原則禁止。
- ・ 「国際政治史 1」を履修済みという前提で授業を進める。
- ・ 授業中に寝る学生は授業に出る必要は無い。
- ・ 授業に出席せず、勉強せずに単位を取得することはできない。
- ・ 指定テキストを授業前に読んでいる学生を対象として講義を進める点に留意すること。
- ・ 「単位を取得すること」ではなく「授業内容を学ぶこと」を重視する学生の受講を歓迎する。
- ・ 大学が公式に認めた理由以外での追試は行わない。

# スポーツ文化論 2

Sport Culture 2

2 単位

|         |                 |              |                   |
|---------|-----------------|--------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市外国語大学        | 担 当 教 員 氏 名  | 竹谷 和之 教授          |
| 開 講 期 間 | 後期 (9/28 ~ 2/8) | 開 講 曜 日・ 時 間 | 金曜日 12:45 ~ 14:15 |
| 対 象 学 年 | 全学年             | 募 集 人 員      | 20 名              |

|         |  |                                |
|---------|--|--------------------------------|
| 科 目 内 容 | 現代社会において競技スポーツが直面する問題、およびそれに対処する私たちの思考を検討する。 |                                |
|         | 各回内容   |                                |
|         | 1  | オリエンテーション                      |
|         | 2  | 「スポーツにおける判定を考える」               |
|         | 3  | ”                              |
|         | 4  | 「スポーツと国家」                      |
|         | 5  | ”                              |
|         | 6  | 「体罰の起源を探る」                     |
|         | 7  | ”                              |
|         | 8  | 「野見宿禰は河童なのか」                   |
|         | 9  | ”                              |
|         | 10   | 「バスク地方のペロタ球戯と教会」               |
|         | 11   | ”                              |
|         | 12   | 「生きる / 動く、からだ モンゴルの暮らしからの問いかけ」 |
|         | 13   | ”                              |
|         | 14   | まとめ 1                          |
| 15      | まとめ 2  |                                |
| 16      | 試験   |                                |

評 価 方 法： 1. 出席  
2. 授業後のレスポンスカードの内容  
3. 筆記試験

教 科 書： 井上邦子・松浪稔・竹村匡弥・瀧元誠樹編著『スポーツ学の射程 「身体」 のリアリティへ』、黎明書房、2015 年 ISBN978-4-654-01921-2

参 考 図 書： 稲垣 正浩・今福 龍太・西谷 修著『近代スポーツのミッションは終わったか 身体・メディア・世界』平凡社、2009 年 ISBN978-4-582-83427-7  
船井 廣樹・松本 芳明・三井 悦子・竹谷 和之編著『スポーツ学の冒険 スポーツを読み解く「知」とは』黎明書房、2009 年 ISBN978-4-654-01821-5  
中村・高橋・寒川・友添編『21 世紀スポーツ大事典』大修館書店 2014 年  
今福 龍太『ブラジルのホモ・ルーデンス』月曜社 2008 年 ISBN978-4-901477-43-7 C0010  
竹谷 和之編著『ジャック・マイヨールの遺産』叢文社 2007 年 ISBN978-4-7947-0582-2  
竹谷 和之編著『<スポーツする身体> とはなにかーバスクへの問い・PART1.』叢文社 2010 年  
桜井 万里子・橋場 弦編『古代オリンピック』岩波新書 2004 年 ISBN4-00-430901-8  
楠見 千鶴子『ギリシアの古代オリンピック』講談社 2004 年  
ジョン・J・マカルーン著 柴田・菅原訳『オリンピックと近代 評伝クーベルタン』平凡社 1988 年 ISBN4-582-82366-1 C0075  
寒川 恒夫編『教養としてのスポーツ人類学』大修館書店 2004 年 ISBN4-469-26552-7  
寒川 恒夫『遊びの歴史民族学』明和出版 2003 年 ISBN4-901933-02-7  
大林他編『民族遊戯大事典』大修館書店 1998 年 ISBN4-469-01260-2 C3539

履 修 に あ た っ て： スポーツに対して批評的視点をもつこと。スポーツへの単なるコメントではなく、新視点への感応力を磨くこと。それには「なぜ」という問いを常に発しながら理解することが必要である。

|         |                |               |                                       |
|---------|----------------|---------------|---------------------------------------|
| 大 学 名   | 兵庫県立大学         | 担 当 教 員 氏 名   | 兵頭 和花子 准教授                            |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/9 ~ 8/6) | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 月曜日 10:40 ~ 12:10<br>木曜日 9:00 ~ 10:30 |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上         | 募 集 人 員       | 50 名程度                                |

|         |  |                           |  |
|---------|--|---------------------------|--|
| 科 目 内 容 | 非営利組織体の社会的存在、意義や特徴、その会計制度の在り方について学ぶ。非営利組織の社会的機能、意義や特徴を理解するとともに、非営利組織の会計制度の把握と問題点・課題について考察する。 |                           |  |
|         | 各回内容   |                           |  |
|         | 1  | 非営利組織体の基礎的概念の把握           |  |
|         | 2  | 非営利組織体の定義と範囲              |  |
|         | 3  | 非営利組織体の存在意義               |  |
|         | 4  | 非営利組織体における社会的役割           |  |
|         | 5  | 非営利組織体と他の組織体との関わり         |  |
|         | 6  | 非営利組織体会計の基礎理論             |  |
|         | 7  | 会計情報の有用性とアカウンタビリティ概念      |  |
|         | 8  | 会計情報の利用者および報告目的           |  |
|         | 9  | 非営利組織体の会計制度の比較            |  |
|         | 10   | 営利組織体会計 (1)               |  |
|         | 11   | 営利組織体会計 (2)               |  |
|         | 12   | 公益法人会計 (1)                |  |
|         | 13   | 公益法人会計 (2)                |  |
|         | 14   | 医療法人会計 (1)                |  |
|         | 15   | 医療法人会計 (2)                |  |
|         | 16   | 医療法人会計 (3)                |  |
|         | 17   | 社会福祉法人 (1)                |  |
|         | 18   | 社会福祉法人 (2)                |  |
|         | 19   | 学校法人会計 (1)                |  |
|         | 20   | 学校法人会計 (2)                |  |
|         | 21   | 特定非営利活動法人 (NPO 法人) 会計 (1) |  |
|         | 22   | 特定非営利活動法人 (NPO 法人) 会計 (2) |  |
|         | 23   | 海外における非営利組織体会計の特徴 (1)     |  |
|         | 24   | 海外における非営利組織体会計の特徴 (2)     |  |
|         | 25   | 海外における非営利組織体会計の特徴 (3)     |  |
|         | 26   | 非営利組織の業績評価 (1)            |  |
|         | 27   | 非営利組織の業績評価 (2)            |  |
| 28      | 非営利組織の課題と展望 (1)  |                           |  |
| 29      | まとめ  |                           |  |

評 価 方 法：定期試験 70%, 出席 30% (レポートを含む) を基準として評価する。

教 科 書：適宜プリントを配布する。

参 考 図 書：『政府と非営利組織の会計 (体系現代会計学)』(中央経済社)

履 修 に あ た っ て：毎回の授業に出席すること。特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。



|         |                 |              |                  |
|---------|-----------------|--------------|------------------|
| 大 学 名   | 兵庫県立大学          | 担 当 教 員 氏 名  | 竹田 直樹 准教授        |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/12 ~ 8/2) | 開 講 曜 日・ 時 間 | 木曜日 9:00 ~ 10:30 |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上          | 募 集 人 員      | 300 名程度          |

|         |   |   |                 |
|---------|---|---|-----------------|
| 科 目 内 容 | 日常生活の中で接する公共的な都市空間に存在する芸術作品の歴史、内容、社会的性質について学ぶことを目的とする。芸術と環境の関係性や芸術の社会性について理解した上で、自らにとっての芸術の価値について考える。これにより、芸術の受容能力を高めることを到達目標とする。                   |   |                 |
|         | 本科目は、公共的な都市空間に存在する芸術作品に関わるものであるが、主に日本の状況に焦点をあてる。江戸時代から現代までの状況について、多数の写真資料を用いつつ解説する。その骨格は、石仏や銅像、「平和の像」、パブリックアート、アートプロジェクト、アニメなどのサブカルチャーコンテンツについてである。 |   |                 |
|         | 各回内容  |   |                 |
|         | 1   | ガイダンス   | 本講義の目標や概要を説明する。 |
|         | 2   | 江戸時代以前の石仏 (3 まで、テキスト序)  |                 |
|         | 3   | 明治から第二次世界大戦までの銅像  |                 |
|         | 4   | 1950 年代の「平和の像」(テキスト第 1 章)   |                 |
|         | 5   | 1960 年代のパブリックアートの始まり (8 まで、テキスト第 2 章)                             |                 |
|         | 6   | 1970 年代から 90 年代にかけてのパブリックアートの展開                                   |                 |
|         | 7   | アメリカ合衆国のパブリックアート  |                 |
|         | 8   | アートディレクターによるパブリックアートプロジェクト  |                 |
|         | 9   | 1990 年代のアートプロジェクトの始まり (13 まで、テキスト第 3 章)                           |                 |
|         | 10  | 2000 年代以降のアートプロジェクトの展開 (その 1)                                     |                 |
|         | 11  | 2000 年代以降のアートプロジェクトの展開 (その 2)                                     |                 |
|         | 12  | 2000 年代以降のアートプロジェクトの展開 (その 3)                                     |                 |
|         | 13  | 2000 年代以降のアートプロジェクトの展開 (その 4)                                     |                 |
|         | 14  | 1990 年代以降のアニメなどサブカルチャーコンテンツの都市空間への進出<br>—「アニメの像」(15 まで、テキスト第 4 章) |                 |
| 15      | 「ガンダム建築」「トトロの森」「聖地巡礼」などの社会現象について—サブカルチャーの社会性  |   |                 |
| 16      | 試験  |   |                 |

評 価 方 法：出席状況 20%、定期試験 60%、予習・復習など総合的な学習状況 20% を基準とする。

教 科 書：『アニメの像 vs. アートプロジェクト—まちとアートの関係史』公人の友社を使用する。この書籍は書店あるいはインターネットで購入できる場合もあるが、入手しにくくなっているため、本サイトからダウンロードし、プリントアウトするかタブレットあるいはスマートフォンなどで授業中に使用可能にすること。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：テキストに沿って授業を行うので、毎回、予習と復習を行うこと。予習と復習のあり方については、授業中に指示する。

# スポーツ経済論 a

Sport Economics a

2 単位

|         |                  |               |                          |
|---------|------------------|---------------|--------------------------|
| 大 学 名   | 兵庫県立大学           | 担 当 教 員 氏 名   | 伊藤 克広 准教授                |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/13 ~ 7/24) | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 金曜日 2 時限 (10:40 ~ 12:10) |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上           | 募 集 人 員       | 10 名程度                   |

|         |   |                      |  |
|---------|---|----------------------|--|
| 科 目 内 容 | 世界共通文化であり国際共通語である「スポーツ」について, 社会科学の視点から考察, 議論する。 |                      |  |
|         | 各回内容  |                      |  |
|         | 1   | スポーツの歴史              |  |
|         | 2   | 文化としてのスポーツ           |  |
|         | 3   | スポーツ基本法とスポーツ基本計画     |  |
|         | 4   | 地方自治体におけるスポーツ推進      |  |
|         | 5   | スポーツ・イベントとレガシー       |  |
|         | 6   | スポーツのインパクト (効果)      |  |
|         | 7   | スポーツ産業・ビジネス          |  |
|         | 8   | スポーツ・マーケティング         |  |
|         | 9   | スポーツ・マネジメント          |  |
|         | 10  | スポーツとメディア            |  |
|         | 11  | スポーツと組織              |  |
|         | 12  | スポーツクラブ (日本と諸外国との相違) |  |
|         | 13  | スポーツにおける消費           |  |
|         | 14  | スポーツとボランティア          |  |
| 15      | 健康とスポーツ   |                      |  |

評 価 方 法 : 授業時間内に実施する小レポート・小テスト (35%) . 平常点 (講義に対する姿勢, 出席, 発言等) (15%) . 最終レポート (50%) .

教 科 書 : 特に指定しない .

参 考 図 書 : 講義内で紹介する .

履 修 に あ た っ て : 最終レポート提出のみでの単位取得は不可能である .



|         |                             |             |                                       |
|---------|-----------------------------|-------------|---------------------------------------|
| 大 学 名   | 兵庫県立大学                      | 担 当 教 員 氏 名 | 池田 敦 教授                               |
| 開 講 期 間 | 後期 (10/2 ~ 12/21・1/8 ~ 2/8) | 開 講 曜 日・時 間 | 火曜日 10:40 ~ 12:10<br>金曜日 9:00 ~ 10:30 |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上                      | 募 集 人 員     | 20 名程度まで                              |

|         |   |  |                                    |
|---------|---|--|------------------------------------|
| 科 目 内 容 | この科目では、流通企業（小売企業と卸売企業）の事業システムを考察・理解するために必要な基本概念を習得し、流通企業の事業戦略とマネジメント課題に対する分析能力を養うことを目的とする。【第1部 小売イノベーションの歴史（第2～9回）】では、米国と日本における小売業態の革新・進化のプロセスを振り返り、小売企業経営の基本問題について理解を深める。【第2部 小売企業の事業システムと事業戦略（第10～18回）】では、主にチェーンストア企業を対象として、小売事業システムの主要な構成要素と戦略課題について理解を深める。【第3部 卸売企業の事業システムと事業戦略（第19～23回）】では、日本の食品分野の大手卸売企業を事例として、その事業システムと事業戦略を考察し、卸売企業経営の現代的課題について理解を深める。【第4部 国際小売企業の事業戦略（第24～29回）】では、小売企業の国際化のプロセスと国際小売企業の事業戦略について考察する。 |  |                                    |
|         | 各回内容  |  |                                    |
|         | 1   | ガイダンス  | 16 オンライン販売とマルチ・チャネル化               |
|         | 2   | 米国における小売経営革新（1）<br>：デパートメントストアと<br>メール・オーダーハウス | 17 マルチ・チャネル戦略の課題                   |
|         | 3   | 米国における小売経営革新（2）<br>：チェーンストア経営                  | 18 顧客関係管理                          |
|         | 4   | 米国における小売経営革新（3）<br>：スーパーマーケットと<br>ディスカウントストア   | 19 日本の卸売商業構造とその動向                  |
|         | 5   | 小売業態革新に関する「小売の輪」仮説                             | 20 卸売企業の事業戦略：<br>その基軸と現代的課題        |
|         | 6   | フランチャイズ・システムの発展                                | 21 食品卸売企業の<br>事業システムと事業戦略（1）       |
|         | 7   | 日本における小売経営革新（1）<br>：総合スーパー                     | 22 食品卸売企業の<br>事業システムと事業戦略（2）       |
|         | 8   | 日本における小売経営革新（2）<br>：コンビニエンスストア                 | 23 卸売企業の<br>サプライチェーン・マネジメント        |
|         | 9   | 日本における小売経営革新（3）<br>：カテゴリーキラー業態                 | 24 小売企業の国際化の現状                     |
|         | 10  | 小売事業システムの構成要素                                  | 25 小売企業の国際化：<br>その動機と市場参入方法        |
|         | 11  | 品揃え（アソートメント）計画                                 | 26 国際小売企業の成長プロセス<br>：事例分析（1）       |
|         | 12  | プライベート・ブランド（PB商品）の開発                           | 27 国際小売企業の成長プロセス<br>：事例分析（2）       |
|         | 13  | カテゴリー・マネジメント                                   | 28 中国市場における<br>国際小売企業の事業戦略：事例分析（1） |
|         | 14  | サプライチェーン・マネジメント（1）                             | 29 中国市場における<br>国際小売企業の事業戦略：事例分析（2） |
| 15      | サプライチェーン・マネジメント（2）  | 30 総括と補足                                       |                                    |

評 価 方 法：レポート（20%）と期末試験（80%）によって評価する。  
レポート提出要領（テーマ、提出期限、様式等）については、授業の中で説明する。

教 科 書：使用しない。

参 考 図 書：(1) M.P. マクネア & E.G. メイ（清水 猛訳）『小売の輪は回る』有斐閣、1982年。  
(2) 石原 武政・矢作敏行編『日本の流通100年』有斐閣、2004年。  
(3) 渡辺 達朗・原 頼利・遠藤 明子・田村 晃二『流通論をつかむ』有斐閣、2008年。  
その他の参考図書については授業中に指示する。

履 修 に あ た っ て：講義と並行して参考図書の自習をしてください。参考図書の自習から得た知見に基づく質問を歓迎します。

# レーザー工学

Laser Engineering

2 単位

|         |              |               |           |
|---------|--------------|---------------|-----------|
| 大 学 名   | 神戸市立工業高等専門学校 | 担 当 教 員 氏 名   | 熊野 智之 准教授 |
| 開 講 期 間 | 前期           | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 未定        |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上       | 募 集 人 員       | 10 名程度    |

|         |   |                  |  |
|---------|---|------------------|--|
| 科 目 内 容 | 光学の基礎から各方面でのレーザー応用までを講義と英語文献の読解を通して学習する。また、学生による発表形式も取り入れ、プレゼンテーション能力を養う。 |                  |  |
|         | 各回内容  |                  |  |
|         | 1   | レーザー開発の歴史的背景     |  |
|         | 2   | レーザー光の特徴         |  |
|         | 3   | レーザー光の発生原理 (1)   |  |
|         | 4   | レーザー光の発生原理 (2)   |  |
|         | 5   | レーザー光の発生原理 (3)   |  |
|         | 6   | レーザー光の発生原理 (4)   |  |
|         | 7   | レーザー概論 (英語文献)(1) |  |
|         | 8   | レーザー概論 (英語文献)(2) |  |
|         | 9   | レーザーの種類          |  |
|         | 10  | レーザー装置 (発表)(1)   |  |
|         | 11  | レーザー装置 (発表)(2)   |  |
|         | 12  | レーザー光の制御         |  |
|         | 13  | レーザー応用 (1)       |  |
| 14      | レーザー応用 (2)  |                  |  |
| 15      | レーザー応用 (3)  |                  |  |

評 価 方 法：期末試験 80%、レポート 10%、プレゼンテーション 5%、英語輪講 5% として評価する。100 点満点で 60 点以上を合格とする。

教 科 書：谷腰 欣司『レーザー技術 入門講座』（電波新聞社）

参 考 図 書：藤本 昌 『基礎 光エレクトロニクス』（森北出版）  
レーザー技術総合研究所 『レーザーと現代社会』（コロナ社）

履 修 に あ た っ て：

# 電気化学

Electrochemistry

2 単位

|         |              |             |           |
|---------|--------------|-------------|-----------|
| 大 学 名   | 神戸市立工業高等専門学校 | 担 当 教 員 氏 名 | 安田 佳祐 准教授 |
| 開 講 期 間 | 前期           | 開 講 曜 日・時 間 | 未定        |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上       | 募 集 人 員     | 20 名程度    |

|         |   |                     |  |
|---------|---|---------------------|--|
| 科 目 内 容 | 電池や電気分解を中心に各種電気化学反応の特徴と電気化学の応用分野における役割を述べる。電気化学がエネルギー貯蔵, エネルギー変換, 無機合成, 冶金・精錬, 表面処理, 電子工学, 環境化学などと密接な関連を持ち, それぞれの分野で重要な役割を果たしていることを講義する。また, その他電気化学に関連する新しい機能性材料及び先端技術についても述べる。 |                     |  |
|         | 各回内容  |                     |  |
|         | 1   | 電気化学の歴史と応用分野        |  |
|         | 2   | 電気化学系の姿             |  |
|         | 3   | 電解質溶液の電気伝導率とモル電気伝導率 |  |
|         | 4   | イオン輸率と移動度           |  |
|         | 5   | 電池の起電力と電極電位         |  |
|         | 6   | 電極反応速度 (1)          |  |
|         | 7   | 電極反応速度 (2)          |  |
|         | 8   | 中間試験                |  |
|         | 9   | 電気化学計測              |  |
|         | 10  | 電池の歴史と一次電池          |  |
|         | 11  | 二次電池                |  |
|         | 12  | 燃料電池                |  |
|         | 13  | 光電気化学と太陽電池          |  |
|         | 14  | めっき・表面加工            |  |
| 15      | 腐食・防食   |                     |  |

評 価 方 法 : 試験 90%、レポート 10%、として評価する。試験成績は中間試験と定期試験の平均点とする。100 点満点で 60 点以上を合格とする。

教 科 書 : 「第 2 版 電気化学概論」: 松田 好晴・岩倉 千秋 共著 (丸善)

参 考 図 書 : 「電気化学」: 渡辺 正・金村 聖志・益田 秀樹・渡辺 正義 共著 (丸善)

「基礎からわかる 電気化学」: 泉 生一郎・石川 正司・片倉 勝己・青井 芳史・長尾 恭考 共著 (森北出版)

履 修 に あ た っ て : 物理化学、分析化学、無機化学の基礎的知識を前提としている。

# 都市防災学

Advanced Disaster Reduction Engineering

2 単位

|         |              |               |                       |
|---------|--------------|---------------|-----------------------|
| 大 学 名   | 神戸市立工業高等専門学校 | 担 当 教 員 氏 名   | 鳥居 宣之 教授<br>宇野 宏司 准教授 |
| 開 講 期 間 | 前期           | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 未定                    |
| 対 象 学 年 | 全学年          | 募 集 人 員       | 20 名程度                |

|         |   |                    |
|---------|---|--------------------|
| 科 目 内 容 | 我が国は様々な自然的・社会的条件から災害が発生しやすい環境下に置かれている。特に、人口・資産が集積した都市においてひとたび大規模な災害が発生した場合には、人的にも物的にも甚大な被害が発生することが予測される。本講義では、都市を災害から守るための取り組み方とその変遷について学習する。 |                    |
|         | 各回内容  |                    |
|         | 1   | 近年の我が国における自然災害     |
|         | 2   | 我が国における都市防災対策とその変遷 |
|         | 3   | 災害気象学 (1)          |
|         | 4   | 災害気象学 (2)          |
|         | 5   | 神戸市域で発生した風水害       |
|         | 6   | 地震の基礎知識            |
|         | 7   | 神戸市域で発生した地震災害      |
|         | 8   | 中間試験               |
|         | 9   | 災害と危機管理            |
|         | 10  | 企業防災・地域防災          |
|         | 11  | 災害情報 (1)           |
|         | 12  | 災害情報 (2)           |
|         | 13  | 災害情報 (3)           |
| 14      | 災害情報 (4)  |                    |
| 15      | 演習課題の報告会  |                    |

評 価 方 法：成績は、試験 70%、レポート 25%、プレゼンテーション 5%、として評価する。試験成績は 2 回の試験（中間試験・定期試験）の平均点とする。

教 科 書：講義時に適宜配布する講義資料。

参 考 図 書：「防災工学」：石井 一郎編（森北出版）  
「地震・高潮・山崩れー自然災害入門」：塩田 修（新風舎）  
「これからの防災・減災がわかる本」：河田 恵昭（岩波ジュニア新書）  
「暮らしと自然災害」：後藤 恵之輔ほか（電気書院）  
「都市と防災」：目黒 公郎、村尾 修（放送大学教育振興会）

履 修 に あ た っ て：レポート課題は、提出期限を厳守すること（提出遅れは、原則、評価対象外）。出席回数 2/3 以上の者に対して成績を評価する。

# アルゴリズムとデータ構造

Algorithms and Data Structures

2 単位

|         |              |             |        |
|---------|--------------|-------------|--------|
| 大 学 名   | 神戸市立工業高等専門学校 | 担 当 教 員 氏 名 | 若林茂 教授 |
| 開 講 期 間 | 後期           | 開 講 曜 日・時 間 | 未定     |
| 対 象 学 年 | 全学年          | 募 集 人 員     | 10 名程度 |

|         |  |                    |
|---------|--|--------------------|
| 科 目 内 容 | <p>アルゴリズムに関する知識は問題ごとに個別的なものであり、何か統一的な原理があつてそれですべてが解決するというものではない。しかし、代表的な優れたアルゴリズムを理解することにより、アルゴリズム設計のかんどころというものが習得できるはずである。この科目では、特定の応用分野に限定されない一般的なアルゴリズムについて、それを実現するためのデータ構造とともに解説する。授業は輪講形式で行う。</p> |                    |
|         | 各回内容   |                    |
|         | 1  | アルゴリズムと計算量         |
|         | 2  | 探索（線形探索・2分探索）      |
|         | 3  | 探索（2分探索木）          |
|         | 4  | 探索（平衡木・B木）         |
|         | 5  | 探索（ハッシュ法）          |
|         | 6  | 整列（選択法・挿入法・シェルソート） |
|         | 7  | 整列（クイックソート）        |
|         | 8  | 整列（ヒープソート）         |
|         | 9  | 整列（マージソート）         |
|         | 10   | グラフ（グラフの表現と探索）     |
|         | 11   | グラフ（各種連結性の判定）      |
|         | 12   | グラフ（最短路の問題）        |
|         | 13   | 文字列のアルゴリズム         |
| 14      | 課題レポートの発表  |                    |
| 15      | まとめ  |                    |

評 価 方 法：成績は、試験 70% 輪講資料と質疑応答 30% として評価する。  
 なお、試験には課題レポートに関する設問を含む。

教 科 書：「アルゴリズムとデータ構造」石畑 清著（岩波書店）

参 考 図 書：別に指示する

履 修 に あ た っ て：手続き型言語でのプログラミング経験のあること。配列、関数、ポインタ等の基礎は理解できていること。

|         |         |               |                    |
|---------|---------|---------------|--------------------|
| 大 学 名   | 神戸市看護大学 | 担 当 教 員 氏 名   | 藤代 節 教授            |
| 開 講 期 間 | 前期      | 開 講 曜 日 ・ 時 間 | 火曜日 13:10～14:40    |
| 対 象 学 年 | 全学年     | 募 集 人 員       | (本学学生を入れて) 100 名程度 |

|         |   |  |  |
|---------|---|--|--|
| 科 目 内 容 | <p>「神戸学」を全国で活動が盛んな「地域学」の一環と捉え、「神戸」について、歴史、文化（文学、ことば、ファッション、建築、映画、食物、スポーツ）、国際交流、観光、自然等の各分野の第一人者を講師として迎え様々な観点から「神戸」を学びます。</p> <p>オリエンテーションの後、下記の講師の方々に講義をしていただきます。講義は概ね以下の順で行う予定です。詳しいスケジュールは、第1回目の授業オリエンテーション時に配付します。第1回目にはレポート課題の説明もしますので、必ず出席して下さい。）</p> |  |  |
|         | 各回内容  |  |  |
|         | 1   | 「(オリエンテーション)」 藤代 節 (神戸市看護大学教授)                       |  |
|         | 2   | 「神戸の風土と文化から」 田辺 真人 (園田学園女子大学名誉教授)                    |  |
|         | 3   | 「神戸のファッション」 見寺 貞子 (神戸芸術工科大学ファッションデザイン学科教授)           |  |
|         | 4   | 「有馬温泉を語る」 金井 啓修 (御所坊社長)                              |  |
|         | 5   | 「神戸の都市山・六甲山」 服部 保 (兵庫県立大学名誉教授)                       |  |
|         | 6   | 「神戸の映画と観光・集客産業」 田中 まこ (神戸フィルムオフィス顧問)                 |  |
|         | 7   | 「神戸・パン物語」 楠本 利夫 (芦屋大学元教授・国際関係学博士)                    |  |
|         | 8   | 「中華街と中華料理」 陳 挺 (中華料理店「小小心縁」オーナーシェフ)                  |  |
|         | 9   | 「神戸開港 150 年と外国人居留地」 谷口 義子 (神戸学院大学非常勤講師)              |  |
|         | 10  | 「外国人と神戸っ子の歴史」 川越 栄子 (神戸女学院大学教授)                      |  |
|         | 11  | 「神戸の医療-臨床現場から」 谷 知子 (神戸市看護大学教授)                      |  |
|         | 12  | 「神戸のまちづくりとリノベーション」<br>花田 佳明 (神戸芸術工科大学環境・建築デザイン学科教授)  |  |
|         | 13  | 「ラグビー W 杯 in 神戸 2019」(仮) 高木 應光 (NPO 神戸外国人居留地研究会事務局長) |  |
|         | 14  | 「神戸のことばと文学」 藤代 節 (神戸市看護大学教授)                         |  |
| 15      | 「神戸の看護教育の歴史」 池田 清子 (神戸市看護大学教授)  |  |  |

評 価 方 法：提出物（神戸の1箇所を訪れてレポートを提出する、他、30%程度）と出席点（70%程度）による予定。

教 科 書：特に使用しない。

参 考 図 書：「神戸地域学-神戸の魅力再発見」 川越 栄子編 大学教育出版 2013 年  
「神戸の150年」 田辺 真人監修 樹林舎 2017 年

履 修 に あ た っ て：「神戸」について様々な角度から勉強してください。外部からもそれぞれの分野の第一人者の先生方をお招きしています。自分たちが学んでいる、住んでいる街についての理解を深めてください。

# 生化学

Biochemistry

1 単位

|         |                  |             |  |
|---------|------------------|-------------|--|
| 大 学 名   | 神戸市看護大学          | 担 当 教 員 氏 名 | 丹野 恵一 准教授                                      |
| 開 講 期 間 | 前期 (4/11 ~ 7/18) | 開 講 曜 日・時 間 | 水曜日 13:10 ~ 14:40<br>又は 14:50 ~ 16:20 (クラス選択可) |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上           | 募 集 人 員     | 5 名  |

|         |   |                                |  |
|---------|---|--------------------------------|--|
| 科 目 内 容 | 生物と化学の体験や知識を基礎とします。そして、1) 生体や細胞の構造・物質的組成を理解すること、2) タンパク質・脂質・糖質等の生体構成成分において、その生合成・分解を主とした代謝を理解すること、を本講義の目的と到達目標とします。 |                                |  |
|         | 各回内容  |                                |  |
|         | 1   | 「生化学」講義の進め方・学び方                |  |
|         | 2   | 細胞①: 生命の最小単位・動物細胞              |  |
|         | 3   | 細胞②: 生体膜と細胞内小器官                |  |
|         | 4   | 実験①: 赤血球の光学顕微鏡による観察            |  |
|         | 5   | 生体の構成成分①: 水・無機物質他              |  |
|         | 6   | 実験②: 赤血球の溶血現象の観察               |  |
|         | 7   | 生体の構成成分②: 糖質の基礎                |  |
|         | 8   | 生体の構成成分③: 糖質とその代謝              |  |
|         | 9   | 生体の構成成分④: 脂質と基礎                |  |
|         | 10  | 生体の構成成分⑤: 脂質とその代謝              |  |
|         | 11  | 生体の構成成分⑥: アミノ酸・タンパク質の基礎        |  |
|         | 12  | 生体の構成成分⑦: アミノ酸・タンパク質とその代謝      |  |
|         | 13  | 遺伝情報とその発現①: DNA の構造と複製・タンパク質合成 |  |
| 14      | 遺伝情報とその発現②: 遺伝子発現へアセトアルデヒド脱水素酵素の遺伝的タイプへ   |                                |  |
| 15      | まとめ   |                                |  |

※補講 (受講希望者のみで実施)

「酵素の性質と臨床生化学的診断への利用」 実験③薬物肝障害モデルマウスからの採血

実験④マウス血清逸脱酵素 (GOT/GPT) の生化学的測定

評 価 方 法: 学期末試験 (90%)、実験への取組・レポート・出席点 (10%) を換算し、総合的に評価します。

教 科 書: 「ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能② 臨床生化学 (第5版)」宮澤 恵二編、メディカ出版 (2018)

参 考 図 書: 1) 高等学校理科教科書「生物基礎・生物」「化学基礎・化学」  
\* 高等学校理科教科書は、看護大図書館 1 階に所蔵有。神戸市看護大学図書館書架分類番号、  
生物:460, 化学:430  
2) 「Essential 細胞生物学 第4版」B.Albert 他著、中村 佳子・松原 謙一監訳 (2016) 南江堂、神戸市看護大学図書館書架分類番号:463

履 修 に あ た っ て: 1) 講義中、配布した生化学講義ノート、参考資料、板書等でわからない専門用語があった場合、講義後に参考書、インターネット等を用いて調べるよう心がけて下さい。  
2) 生化学は、生体の活動を分子・物質レベルの働きとして理解する分野です。生化学は、一度基本を理解すれば決して難しい科目ではありません。高等学校で履修した生物・化学の知識が基礎となりますが、生物・化学を履修していない方も理解できる講義・実験等を心がけます。



# 障害学

Disability Studies

1 単位

|         |  |              |                  |
|---------|--|--------------|------------------|
| 大 学 名   | 神戸市看護大学                                      | 担 当 教 員 氏 名  | 梶田 美雄 准教授        |
| 開 講 期 間 | 後期 (10/24 ~ 12/12) (神戸市看護大学実習日程次第では変更可能性あり。) | 開 講 曜 日・ 時 間 | 水曜日 9:00 ~ 10:30 |
| 対 象 学 年 | 2 年次以上                                       | 募 集 人 員      | 60 名程度           |

|         |  |  |  |
|---------|--|--|--|
| 科 目 内 容 | 障害 (学) をめぐる諸問題の検討を通して、「(障害者との) 共生社会」の実相を理解する。後期近代社会において、「障害者」をはじめとした人間資源が、どのような視線のもとで利用されようとしているのかを「大競争社会の到来」という枠組みのもとで理解する。それらの理解をもとに、「同化主義批判」「排除と包摂」「ろう文化宣言」「日本手話と手指日本語」「触常者宣言」等のキーワードを、自分自身で活用可能な水準にまで、血肉化する (キーワードを自家菜籠中のものとしたレポートが書けるようになるということだ)。結果として、社会変動に応じて、自らの対社会的スタンスを変革できる能力を育て、20 年後に幹部看護師等の対人サービス専門職幹部になり得る力を得させる。また、社会科学の授業として、社会科学系のレポート作成能力及び、グループワーク (GW) 遂行能力をも養成する。 |  |  |
|         | 各回内容   |  |  |
|         | 1  | はじめに・・・ビデオ「IT が開く情報の扉」 or 「音のない世界で」を見て考える  |  |
|         | 2  | 観察 (1)・・・“障害者”の諸宣言を見てみよう! (GW)   |  |
|         | 3  | 観察 (2)・・・“障害者”の諸宣言を見てみよう! (承前) (GW)  |  |
|         | 4  | 理論 (1)・・・「障害学入門」(その 1: 基本概念を理解しよう)<br>★杉野 昭博『障害学-理論形成と射程-、<br>石川 准・長瀬 修編『障害学への招待』& 石川・倉本編『障害学の主張』                                  |  |
|         | 5  | 理論 (2)・・・「障害学入門」(その 2: 障害学の展開を把握しよう) (GW)<br>★安積 純子、尾中文哉、立岩 真也、岡原 正幸<br>『生の技法 — 家と施設を出て暮らす障害者の社会学』(文庫版)<br>北島 行徳『無敵のハンディキャップ』(文庫版) |  |
|         | 6  | 思考 (1)・・・我々はどこまで行けるのか (その 1) (GW)<br>★渡 正『障害者スポーツの臨界点-車椅子バスケットボールの日常的実践から』<br>阿部他「資源としての障害パースペクティブの可能性」 in 『年報筑波社会学』               |  |
|         | 7  | 思考 (2)・・・我々はどこまで行けるのか (その 2) (GW)<br>★テーマを決めて自分で調べて書く。発表する。<br>意見をもらう。相互に添削をする。  |  |
| 8       | 発表会・・・3 冊以上の参考文献を参照したうえで、障害学に関して意見が言えるようになる。<br>★特集「著作権法と大学教育における著作物利用」 in 『大学時報』 346 号  |  |  |

評 価 方 法：平常点 (40%) とレポート (60%)

教 科 書：

参 考 図 書：石川 准・長瀬 修編『障害学への招待 — 社会、文化、ディスアビリティ』(明石書店)。  
石川 准・倉本 智明編『障害学の主張』(明石書店)。  
杉野 昭博『障害学 - 理論形成と射程 -』(東京大学出版会)。  
小川 喜道・杉野 昭博編著『よくわかる障害学』(ミネルヴァ書房)  
渡 正『障害者スポーツの臨界点-車椅子バスケットボールの日常的実践から』(新評論)。

履 修 に あ た っ て：毎回の授業に出席すること。とりわけ初回は、授業概要とコメントシートの書き方を指導するので、必ず出席すること。内容はハードですが、得られるものは大きいはず。志の高い学生諸君の積極的な履修を期待しています。



|         |                    |              |                   |
|---------|--------------------|--------------|-------------------|
| 大 学 名   | 神戸市看護大学            | 担 当 教 員 氏 名  | 丹野 恵一 准教授         |
| 開 講 期 間 | 後期 (10/19 ~ 12/14) | 開 講 曜 日・ 時 間 | 金曜日 16:30 ~ 18:00 |
| 対 象 学 年 | 1 年次以上             | 募 集 人 員      | 5 名               |

|         |   |   |  |
|---------|---|---|--|
| 科 目 内 容 | 本講義は、日常生活における水道水・食品・居住環境等の環境問題について、実験・演習・見学を通じて考えるプロセスを体得することを目的とします。 |   |  |
|         | 各回内容  |   |  |
|         | 1・2   | はじめに ~水俣病の原因究明を題材として環境問題を考える~ (演習)                          |  |
|         | 3・4   | 水道水中の残留塩素濃度の分析~自宅・看護大学内等にて水道水のサンプリング~ (実験)                  |  |
|         | 5   | 食品添加物の分析~市販の加工食品からの発色剤・保存料(亜硝酸ナトリウム)の定性分析~ (実験)             |  |
|         | 6   | 水道水残留塩素濃度と食品中亚硝酸ナトリウム濃度の Excel を用いたデータ解析                    |  |
|         | 7   | 招聘講師による臨時講義「健康、未病、病に関わる化学物質について(2017年度)」                    |  |
|         | 8   | まとめ ~「生活と環境」で学んだことを自分自身でどう考えるか~                             |  |
|         | 9   | 補講(見学・希望者のみ): こうべ環境未来館~神戸市資源リサイクルセンター~<br>* 神戸電鉄「木津駅」下車徒歩5分 |  |

評 価 方 法 : 各回の実験・演習への取り組み及び出席点(70%)と最終提出レポート(30%)換算し、総合的に評価致します。

教 科 書 : 教科書は指定せず、各テーマごとに講義資料を配付します。

参 考 図 書 : 1) 日本化学会編集『暮らしと環境科学』(東京化学同人)(2003)、神戸市看護大学図書館分類番号: 看護大 515.

2) 澤村良二他編集『環境衛生学(改訂第2版)』(南江堂)(1992)、神戸市看護大学図書館分類番号: 看護大 WA670

履 修 に あ た っ て : 1) 本講義は、受講生の空き時間と調整させていただいた後、一日に2時限分の実験を行うこともあります。  
2) 一つのテーマについて自分の手を動かし自分の目で確かめることは大切なことです。身近な生活の環境問題を理解すること、そして環境問題の解決に向けて自分の考え方を身につけるプロセスを体得します。環境問題に興味がある学生さんの履修を歓迎致します。









# UNITY (大学共同研究施設) のご案内

加盟大学の学生は、和室を除き無料で利用できます。授業等が無く空いている時間帯に貸出していますので、ゼミ、勉強会やサークル活動(概ね5人以上)にぜひご利用ください。ロビーでは、パソコンの利用や自習ができます。

また、土曜日に開催される公開講座につきましても、無料で受講できますので、是非参加してみてください。

## 開館時間

月～木 9:00～20:00 (単位互換講座特別科目開講期間中)

9:00～17:30 (単位互換講座特別科目開講期間外)

金・土 9:00～17:30

## 休館日

日曜・祝日、年末年始(12月28日～1月4日)

館内整備等のために臨時に休館することがあります。

## 利用申込方法

来館または電話でお申込みください。(必ず申請書の提出が必要です。)

他の利用者に迷惑を及ぼすものや大学の講義室に適さないものは受付しません。

利用申込みをキャンセルする場合は、必ず事前に連絡してください。

(連絡なきキャンセルの場合、次回からの利用をお断りさせていただく場合があります。)

## 利用上の注意事項

利用時間は準備及び後片付けの時間を含んでいます。

利用後は必ず原状復帰をし、火元の安全確認をしてください。

専用の駐車場はありません。



